Panasonic

Hi-Fi(ステレオ)タイプ

ビデオカセットレコーダー
取扱説明書

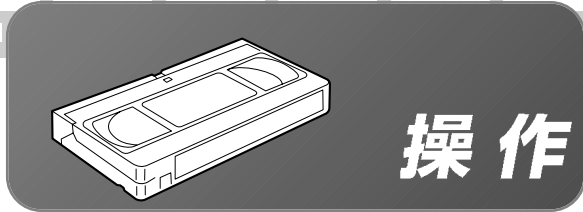
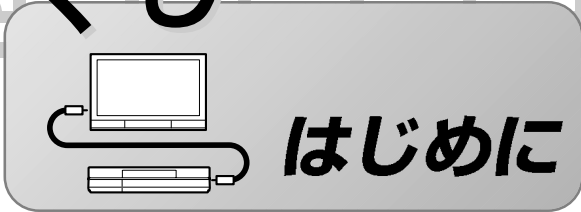
品番 NV-SV120

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびはパナソニックビデオカセットレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

VQT0D29

もくじ

はじめに

操 作

使用前 ➔3～

ご自分で設置される方は…
お使いになる前に、以下の項目を必ず行ってください

再生・録画 ➔20～

予約録画 ➔28～

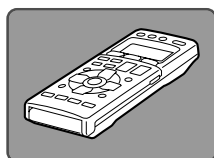
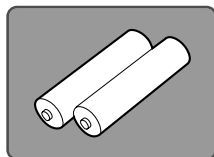
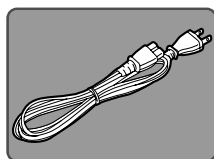
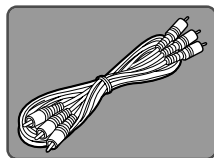
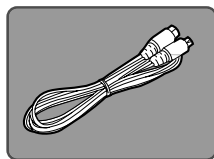
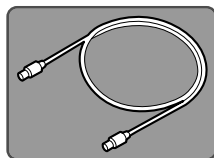
便利機能 ➔34～

付属品

その他

外部入力・編集 ➜46〜

ご参考 ➜52〜

- 下記の部品が入っているか確かめてください。
- 付属品をなくされたときは、サービスルート扱いでご用意しているものがありますので、ご注文ください。(以下に品番を記載しているもののみ)
- この取扱説明書に記載の付属品・別売品のメーカー希望小売価格・品番は、2003年3月現在のものです。
- **メーカー希望小売価格には消費税や工事代などは含まれていません。**

リモコン
(➜9)
EUR7906KB0
メーカー希望小売価格：5,000円

リモコン用乾電池(2本)
(➜11)
単4形乾電池(R03)

電源コード
(➜12)
VJA0536T
メーカー希望小売価格：400円

映像・音声コード
(➜12)
K2KA6BA00002
メーカー希望小売価格：300円

S映像コード
(➜12)
K2KZ9AA00001
メーカー希望小売価格：300円

75Ω同軸ケーブル
(➜12)
VJA1125
メーカー希望小売価格：400円

参照ページについて

- 参照していただくページを(➜○○)で示しています。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コード・プラグについて

電源コードやプラグを破損させない

禁止

無理に曲げて設置したり、ステープルなどで壁などに固定すると、コードが破損し、火災・感電につながります。

●電源コードやプラグが破損したときは、販売店にご相談ください。

交流100ボルト以外の電源電圧では使わない
配線器具の仕様をこえる使いかたをしない

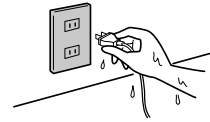
禁止

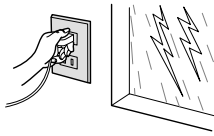
たこ足配線などの場合も、過電流で発熱し、火災・故障につながります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電につながります。

●必ず、乾いた手で抜き差ししてください。

雷が鳴り出したら、電源プラグやアンテナ線にふれない

落雷すると、感電につながります。

電源プラグは、根元までしっかりと差し込む

接触不良で火災・感電につながります。

●いたんだプラグやゆるんだコンセントは、使わないでください。

●プラグは時々点検してください。

電源プラグのほこりなどは取る

湿気などでショートや絶縁不良となり、火災・感電につながります。

●プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

●プラグは時々点検してください。

ご使用について

内部に金属物を入れたり、水をかけたりぬらしたりしない

水ぬれ禁止

火災・感電・故障につながります。

●乳幼児にご注意ください。

分解や改造をしない

分解禁止

火災・感電・故障につながります。

●修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。

異常時について

異常が起こったら、使うのをやめ、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **キャビネットが破損したとき**
- **煙が出る、異常に熱い、においや音などがするとき**

火災・感電につながります。

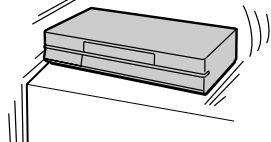
●販売店にご相談ください。

※本機のイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますが御了承ください。

⚠ 注意

設置・接続について

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かない

禁止

落下すると、けがをしたり、製品の故障のおそれがあります。

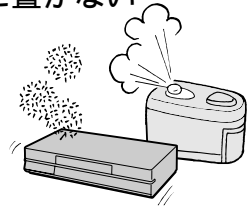
風通しの悪いところ、狭いところに置かない

禁止

高温になると発熱し、火災・感電のおそれがあります。

●押し入れ、本箱など、風通しの悪いところ、じゅうたんやふとんの上に置かないでください。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところに置かない

禁止

水やほこりが入ったり、振動などで内部部品が損傷すると、火災・感電のおそれがあります。

●1年に一度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください。(特に湿度が高くなる梅雨期の前に点検をすると効果的です)

●費用についても、そのときお確かめください。

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

禁止

倒れたり落下などをして、けがをするおそれがあります。また、重量でキャビネットが変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障のおそれがあります。

アンテナ工事には技術と経験が必要です

アンテナが倒れると、けがや感電するおそれがあります。

●販売店にご相談ください。

ご使用について

カセット挿入口に指を挟まれないように注意する

指に注意

けがをするおそれがあります。

●乳幼児にご注意ください。

お手入れの際や長期間使わないときは、安全のため、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

誤って内部にふれると、感電するおそれがあります。また、通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災のおそれがあります。(テープ保護のため、カセットも取り出しておいてください)

持ち運びについて

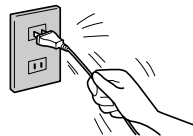
コード類を接続したまま移動させない

禁止

コード破損の原因となり、火災・感電・故障のおそれがあります。

●必ず、接続を外してから移動させてください。

電源コードを持って抜かない

禁止

コード破損の原因となり、火災・感電のおそれがあります。

●必ず、電源プラグを持ってください。

乾電池について

電池は正しく取り扱う

・⊕と⊖を確かめ、正しく入れる

・長期間使用しないときは、取り出しておく

電池は誤った使い方をしない

禁止

・⊕ ⊖部に他の金属物を接触させない

・新しい電池と古い電池をまぜて使わない

・充電式電池や種類が違う電池を使わない

・分解、加工(はんだ付けなど)、加圧、加熱、火中投入などをしない

液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

●万一、液漏れが発生し、液が手や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

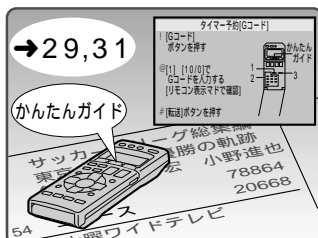
本機の特長　使用上のお願い

かんたん機能について

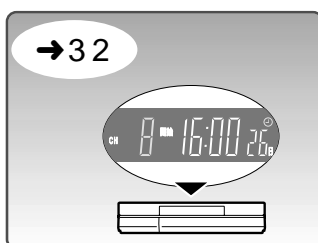
見たい番組の予約録画から再生まで、簡単に操作していただけます。

かんたん予約

テレビ画面の指示に従って、予約録画の操作ができます。

→かんたん予約ガイド

かんたん確認

予約済みの内容を本体表示窓で確かめることができます。

→予約確認

かんたん再生

直前に予約録画した番組をワンタッチ操作ですぐに見ることができます。

→かんたん予約再生

接続・設置時

設置するとき

すべての機器の電源を切ってから接続する

水平なところで使う

- 下に雑誌などを置いて傾けて使わないでください。

「露付き」について

「露付き」とは

- 冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「露付き」といいます。
- 本機やカセットに「露付き」が起こったまま使うと、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。
  また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。
- 「露付き」が起こりやすいとき
  - ・梅雨の時期
  - ・本機やカセットを寒いところから暖かいところへ急に移動させたとき
  - ・寒い部屋を急に暖房で暖めたとき
  - ・エアコンなどの冷風が本機やカセットに直接当たっていたとき
  - ・湯気が立ちこめるなど、部屋の湿度が高いとき
  - ・設置した直後
- 「露付き」が起こりそうなときは、部屋の温度になじむまで(約2時間程度)、電源を入れたまま放置してください。

お手入れ・移動時

お手入れについて

キャビネットが汚れているとき

- 電源プラグをコンセントから抜き、乾いたやわらかい布でふいてください。

汚れがひどいとき

- 中性洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよくしぼってから汚れをふき取ってください。
  そのあと、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。
- キャビネットが変質したり、塗装がはげたりしますので、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。

移動・輸送するとき

落としたり、ぶつけたりしない

カセットを取り出し、電源コードなどのコード類をすべて外す

- 引っ越しなどで輸送するときは、購入時の包装箱に入れてください。

きれいな映像・音声をお楽しみいただくために、下記の点をお守りください。

使用時

使用するとき

カセット挿入口にカセット以外のものを入れない

揮発性の殺虫剤などがかからないようにする

- キャビネットが変形したり、塗装がはげるおそれがあります。

録画・再生中

強い磁気を持っているものや、強い電磁波を出すもの(携帯電話など)を近付けない

- 映像・音声に悪影響を与えたり、録画内容が消えたりするおそれがあります。
- 特に、プラズマテレビをお使いの場合は、できるだけ本機を遠ざけてください。

大切な録画のとき

二度と録画できないような大切な録画のときは、事前に試し録画を行い、正しく録画・録音できることを確かめておく

- 本機およびカセットを使用中、万一これらの不具合により、録画・録音されなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

使わないとき

- 長期間(約1カ月以上)使わないときは、カセットを取り出し、電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  カセットは、テープを始端まで巻き戻してから取り出してください。
- 電源コンセントに接続されていると、電源を切っても約1.4ワット(時刻表示消灯時は約0.3ワット)の電力を消費しています。
- 機能を保つため、1カ月に一度くらいは再生などをしてお使いください。

著作権について

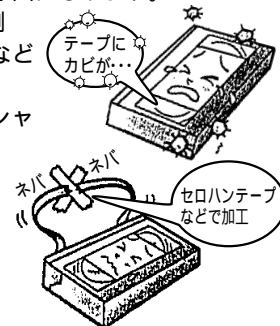
■**あなたが録画・録音されたものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。**

■**著作物を無断で放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。**

カセットについて

品質のよいカセットを使う

お使いになる前に、必ずカセット(テープ)の品質を確かめる

- 品質の悪いカセット(テープ)を使うと、きれいに録画・再生できないだけでなく、ビデオヘッドなどの精密部品を汚したり傷が付くなどして、故障の原因になります。
- 品質の悪いカセット(テープ)の例
  - ・水などの液体やほこり、カビなどが付いている
  - ・テープが波打ったりクシャクシャになっている
  - ・テープをセロハンテープでつなぐなど、加工してある
  - ・テープがたるんでいる

- このようなカセット(テープ)を使うと、ビデオヘッドが汚れ、再生したときに映像が乱れたり、テレビ画面全体が青色(ブルーバック)になったりします。
- このときは、乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)**(➔58)**でビデオヘッドをクリーニングしてください。それでも効果がないときは、販売店にご相談ください。
  ビデオヘッドクリーナーの説明書もお読みください。
- 湿式のビデオヘッドクリーナー(市販品)は使わないでください。(故障の原因になります)

カセットの取り扱いについて

落としたり、激しい振動を与えたりしない

お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない

- このようなカセットを使うと、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。

新しいカセットを使うときは、いったんテープの終端まで早送りし、巻き戻してから使う

- 新しいものはテープどうしがはり付いていることがありますので、ほぐしてからお使いになることをおすすめします。

使用後は、テープを始端まで巻き戻しておく

- このあとカセットを取り出し、ケースに入れ、立てて保管してください。

次のようなところに置いたり保管したりしない

- ・ほこりの多いところ
- ・高温になるところ(推奨温度：15 ℃～25 ℃)
- ・温度差が激しいところ
- ・湿度の高いところ(推奨湿度：40 %～60 %)
- ・湯気や油煙の出るところ
- ・冷暖房機器に近いところ
- ・自動車のダッシュボードの中

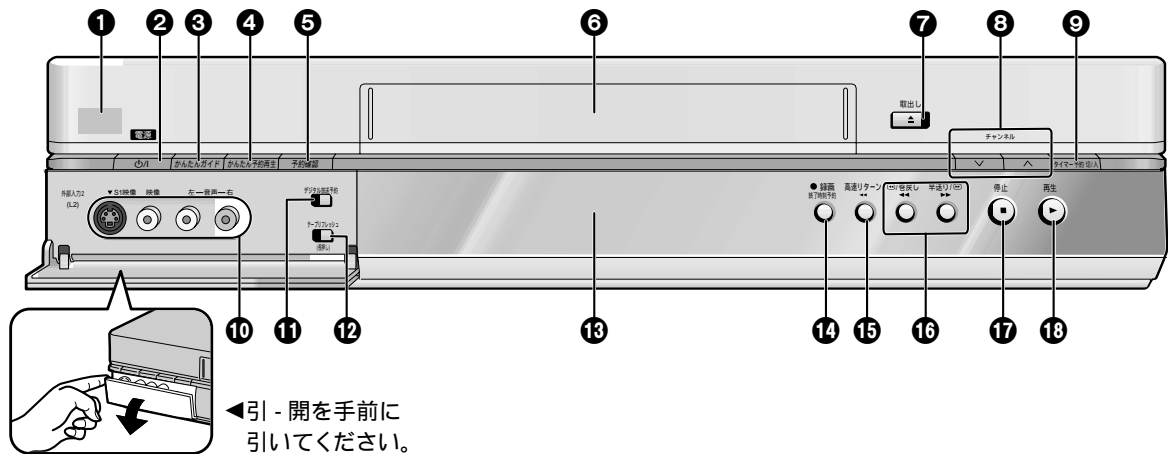
強い磁気を持ったもの(スピーカーなど)を近付けない

- 強い磁気の影響を受けると、映像や音声にノイズが入ったり、ひどいときには大切な録画内容が消えてしまったりすることがあります。

各部の名前

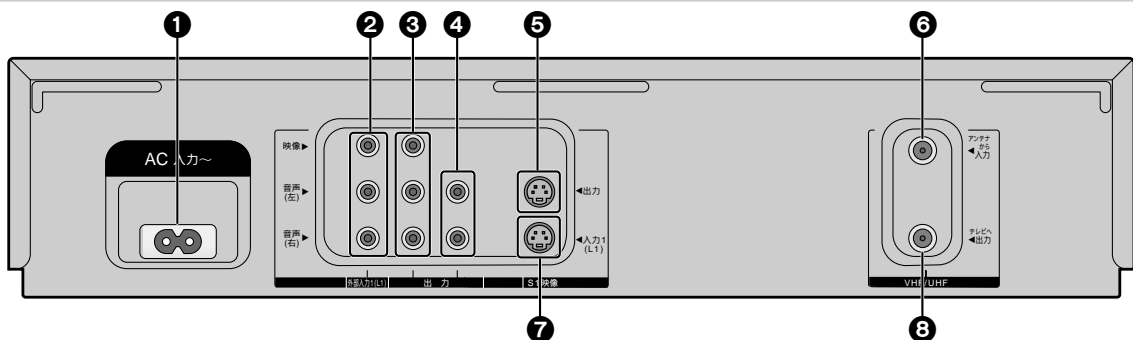
本体 (本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています)

前面

◀**引一開**を手前に
引いてください。

本体表示窓(主な表示の説明)

カセットが入っているとき
S-VHSまたは S-VHS ET 録画・再生時
予約録画待機中、実行中 デジタル放送予約録画時(橙色)
予約録画日(曜日)
CMカット録画時(橙色)
テープ残量
録画時(橙色)
テープ動作状態
録画モード(3倍、5倍は橙色)
現在の受信チャンネル 予約録画チャンネル テープリフレッシュ時 プログラムナビデータ確認中(橙色)
現在時刻 予約開始・終了時刻 テープカウンター 予約録画日 など

❶ **リモコン受信部**......(➜**11**)
❷ **[電源⏻/I]ボタン**......(➜**15,16**)
❸ **[かんたんガイド]ボタン**......(➜**29,31**)
❹ **[かんたん予約再生]ボタン**......(➜**36**)
❺ **[予約確認]ボタン**......(➜**32**)
❻ **カセット挿入口**......(➜**20**)
❼ **[取出し⏏]ボタン**......(➜**20**)
❽ **チャンネル[ˇ][ˆ]ボタン**......(➜**16,17,24,39**)
❾ **[タイマー予約 切/入]ボタン**......(➜**33,50**)
❿ **外部入力2(L2)端子**......(➜**47**)
⓫ **[デジタル放送予約]ボタン**......(➜**50**)
⓬ **[テープリフレッシュ(長押し)]ボタン**......(➜**38**)
⓭ **本体表示窓**......(➜**左記**)
⓮ **[●録画/終了時刻予約]ボタン**......(➜**24,27**)
⓯ **[高速リターン◀◀]ボタン**......(➜**20**)
⓰ **[巻戻し◀◀][早送り▶▶]ボタン**......(➜**20**)
⓱ **[停止■]ボタン**......(➜**20**)
⓲ **[再生▶]ボタン**......(➜**20**)

後面

❶ **AC入力ソケット**......(➜**12**)
❷ **外部入力1(L1)端子**......(➜**13,46,48,49**)
❸ **出力端子**......(➜**12**)
❹ **音声出力端子**
外部音声入力端子(AUXなど)のあるステレオセット、ラジカセなどと接続できます。
❺ **S1映像出力端子**......(➜**12**)
❻ **VHF/UHF・アンテナから入力端子**......(➜**12**)
❼ **S1映像入力1(L1)端子**......(➜**48,49**)
❽ **VHF/UHF・テレビへ出力端子**......(➜**12**)

リモコン

ビデオ操作時

A [ビデオ/テレビ]スイッチ
ビデオの操作をするときは、必ず[ビデオ]を選んでください。
[ビデオ]を選んでいないと正しく操作できません。

❶ [ビデオ電源]ボタン ……(➔15,16)
❷ リモコン表示部
❸ [かんたんガイド]ボタン……(➔29,31)
❹ [かんたん予約再生]ボタン……(➔36)
❺ [プログラムナビ]ボタン……(➔34)
❻ [録画●]ボタン……(➔24)
❼ [一時停止/スロー ❚❚/❚▸]ボタン ……(➔21,24)
❽ [リセット]ボタン……(➔40)
❾ [巻戻し◀◀(◀)]ボタン ※1 ……(➔18,20,42)
❿ [実行]ボタン……(➔18,42)
⓫ [高速リターン◀◀]ボタン ……(➔20)
⓬ [停止■(▼)]ボタン ※1 ……(➔18,20,42)
⓭ 頭出し[K][L]ボタン……(➔37)
⓮ リモコン送信部……(➔11)
⓯ [タイマー 切/入 ◷]ボタン ……(➔33,50)
⓰ [レンタルモード]ボタン……(➔23)
⓱ チャンネル[J][I] ※2
(トラッキング[+][−])ボタン ……(➔16,17,24,39)
⓲ [メニュー]ボタン ……(➔16,18,42)
⓳ [▶再生(▲)]ボタン ※1 ……(➔18,20,42)
⓴ [早送り▶▶(▶)]ボタン ※1 ……(➔18,20,42)
㉑ [時計/残量]ボタン ……(➔40)
㉒ スピードサーチ[⏪][⏩]ボタン……(➔21)

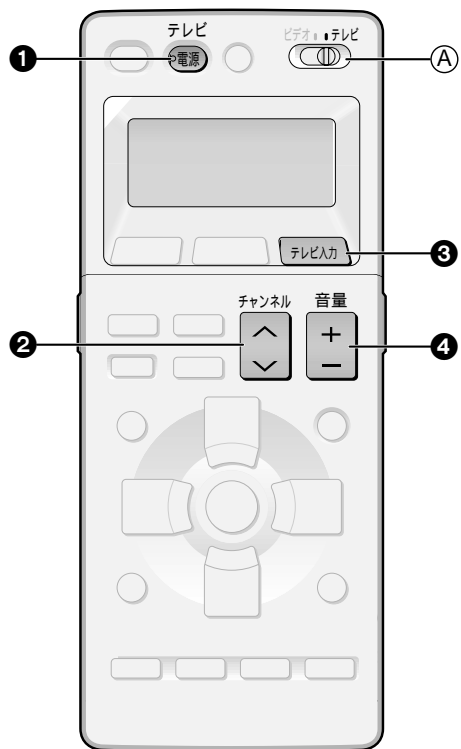
※1 このボタンは、メニュー画面の操作で項目を選ぶときなどにも使います。
※2 ビデオチャンネルボタンと して使うときは、リモコン表示部に「VIDEO(ビデオ)」と表示されます。

■ふたをひらいたところ

㉓ [曜日/日][チャンネル][開始][終了]ボタン ……(➔14,28,30)
㉔ [取消し]ボタン ……(➔19,32)
㉕ [確認]ボタン……(➔32)
㉖ [予約延長]ボタン ……(➔28,33)
㉗ [確定]ボタン……(➔28,30,32)
㉘ [Gコード]ボタン……(➔28)
㉙ [1]〜[12]ボタン……(➔17,24,28)
㉚ [標準/3倍/5倍]ボタン……(➔24,28,30)
㉛ [CM]ボタン ……(➔22,24,28,30)
㉜ このボタンは働きません。
㉝ [音声切換]ボタン ……(➔41)
㉞ [転送/修正(長押し)]ボタン……(➔17,28,30,32)
㉟ このボタンは働きません。
㊱ [ビデオ/テレビ]ボタン……(➔16,25)
㊲ [設定(長押し)]ボタン ……(➔14,17,31)
㊳ [リモコン1/2/3(長押し)]ボタン ……(➔42)

各部の名前(つづき)

リモコン (つづき)

テレビ操作時 ※実際の操作内容についてはテレビの説明書をお読みください。

Ⓐ **[ビデオ/テレビ]スイッチ**
テレビの操作をするときは、必ず**[テレビ]**を選んでください。
[テレビ]を選んでいないと正しく操作できません。

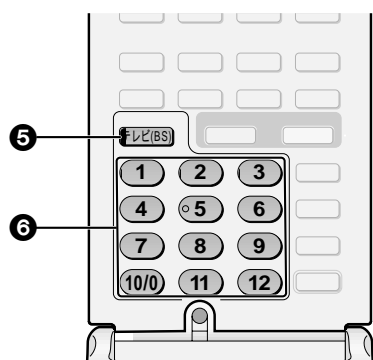
❶ **[テレビ電源]ボタン**..(➔14)

❷ **チャンネル[ ][ ]ボタン**..(➔14,25)
チャンネルを選ぶとき。
テレビチャンネルボタンとして使うときは、リモコン表示部に「TV」と表示されます。

リモコン表示部

❸ **[テレビ入力]ボタン**..(➔15,25)
入力(「テレビ」、「ビデオ1」など)を切り換えるとき。

❹ **音量[＋][－]ボタン**..(➔14)
音量を調節するとき。

■ふたをひらいたところ

❺ **[テレビ(BS)]ボタン**..(➔46)
BSチャンネルを選ぶとき。
このボタンを押したあと、約10秒以内に**[5]**、**[7]**、**[9]**、**[11]**を押してください。(例：BS 7chの場合、**[テレビ(BS)]**→**[7]**)

❻ **[1]～[12]ボタン**..(➔16,25,46)
チャンネルを直接選ぶとき。

- **[録画●]や[メニュー]ボタン(➔9)など誤動作や各種設定にかかわるボタンは、誤って押してしまうことを防ぐため、他のボタンよりも凹凸が少なくなっています。**

本書では、ボタン名を[▶**再生**]などで示し、「各部の名前」以外のページでは“ ボタン ”を省略しています。

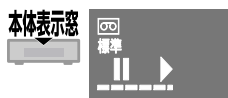
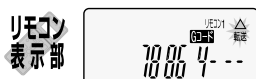
本書の読みかた/リモコンの準備

本書の読みかた

表示イラストについて

本書では、各操作手順に記載している表示イラストをマーク で示しています。

本体表示窓

本体表示窓

リモコン表示部

リモコン 表示部

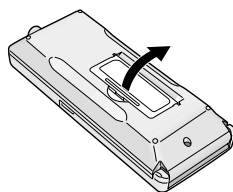
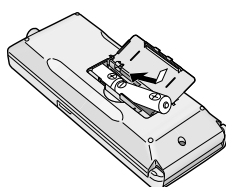
テレビ画面

テレビ 画面

リモコンの準備

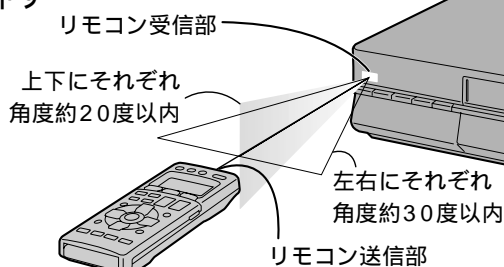
電池を入れる

- リモコン表示部が薄暗くなってきたら、電池を交換してください。(使用環境、使用回数などにもよりますが、電池の寿命は約1年です)
- 電池交換後、本機やテレビが操作できなくなっているときは、テレビメーカー番号(**➜14**)、リモコンモード(**➜42**)を合わせ直してください。
- 充電式電池(Ni-Cd(ニッケルカドミウム)など)は使わないでください。
- 不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。
- 1カ月以上使わないときは、電池を取り出しておいてください。

1

ふたを
開ける

2 単4形乾電池(付属)を
入れる

- ⊕⊖を確認してください。

3 ふたを元どおり
閉じる

操作のしかた

- 操作できる範囲は正面で約7m以内、角度は左右に約60度、上下に約40度以内です。(ただし、周囲の明るさで変わります)
- 本体をラックに入れて使用するときは、ガラス扉の厚さや色によって、操作できる範囲が短くなることがあります。
- 本機とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- リモコン受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てないでください。

1 リモコン受信部に向け、確実にボタンを
押す

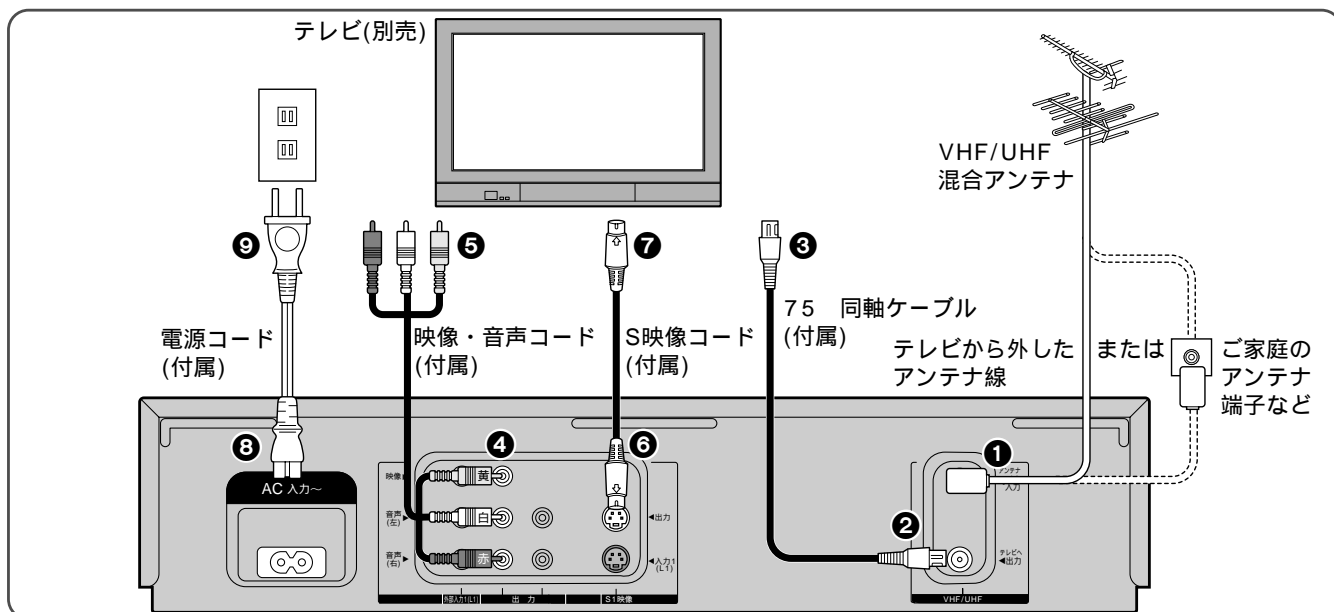
リモコン受信部

上下にそれぞれ
角度約20度以内

左右にそれぞれ
角度約30度以内

リモコン送信部

準備 1 接続する

VHF/UHFアンテナ、テレビと接続する

準備 ● 各機器の電源を切っておく。(接続は乾いた手で行ってください)

1 テレビから外した
アンテナ線を接続する
(VHF/UHF・アンテナから入力端子❶)

2 75Ω同軸ケーブル(付属)を
接続する
(VHF/UHF・テレビへ出力端子❷～VHF/UHFアンテナ入力端子❸)

3 映像・音声コード(付属)を
接続する
(出力端子❹～ビデオ入力端子❺)

4 S映像コード(付属)を
接続する
(S1映像出力端子❻～ビデオ入力端子❼)
- テレビにS映像入力端子があるときは、この接続をするとより高画質でお楽しみいただけます。
- S映像入力端子が複数あるテレビ(S1やS1/S2など)に接続したときは、メニュー「モード設定」→「ワイドモード」をテレビに合わせて変更してください。(➜42)

5 電源コード(付属)を
接続する
(AC入力ソケット❽～ご家庭の電源コンセント❾)

テレビから外したアンテナ線がプラグ付き同軸ケーブルでないとき
- 別売の部品や加工が必要です。
  詳しくは、販売店にご相談ください。

- テレビにビデオ入力(映像・音声)端子があるときは、必ずこの接続をしてください。接続しないと、ステレオ音声(ハイファイ音声)は楽しむことができません。
- ここでは、テレビのスピーカーを使って音声を聞く場合を説明しています。
- 音声端子が1つしかない(モノラル)テレビをお使いのときは、ステレオ⟷モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。

テレビにビデオ入力(映像・音声)端子がないとき
- 手順3,4の接続は不要です。
  ビデオ専用チャンネル"CH 1"または"CH 2"を設定してください。テレビで1(または2)チャンネルを選べば、本機の映像が映ります。ただし、音声はモノラルになります。**(映像・音声コードで接続していないとき➜16)**

時刻表示を確かめる

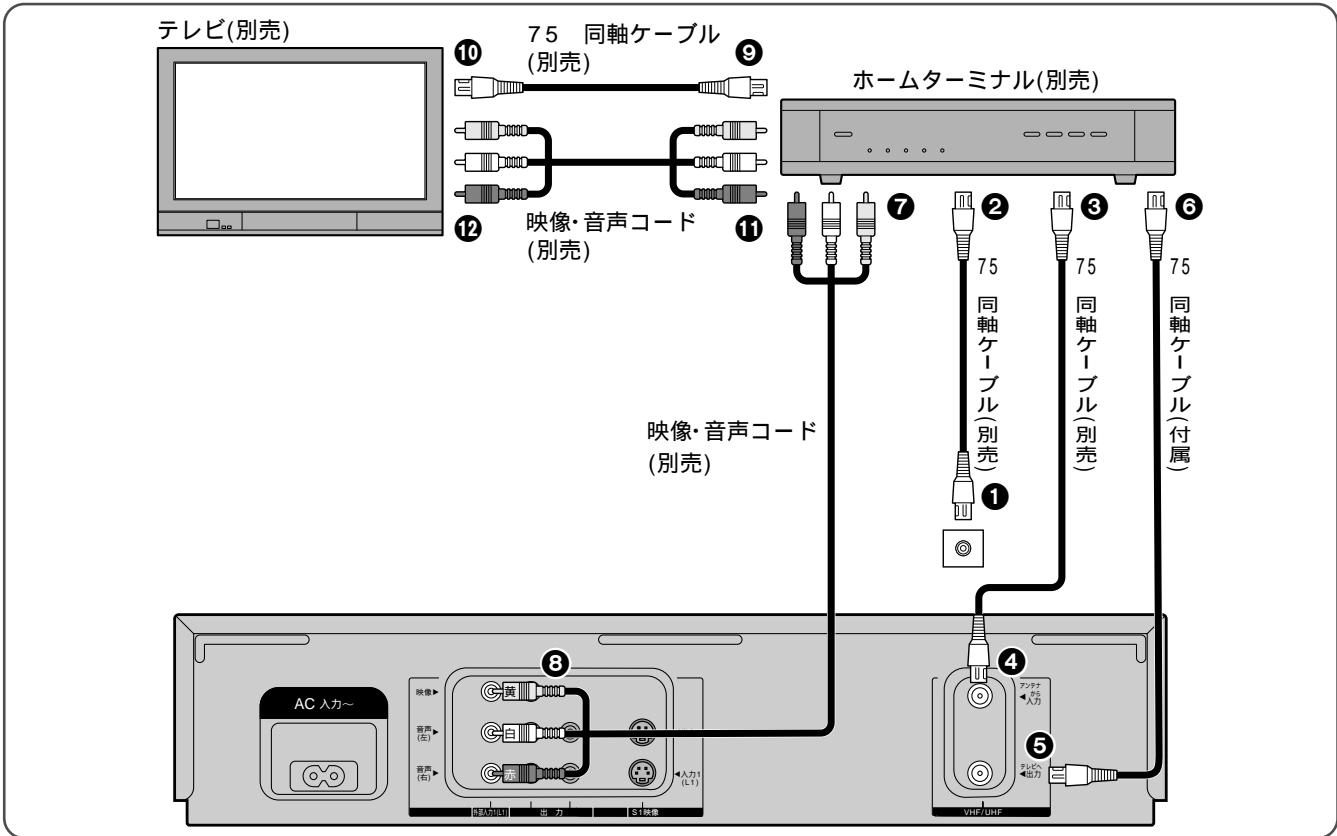
1 電源コンセントに接続したあと、
本体表示窓の現在時刻が合っているか、
確かめる

2 間違っていたら、
合わせ直す**(➜44)**

- 本機は時刻を合わせて工場出荷されています。
  自動バックアップ機能**(➜下記)**で時刻を記憶していますので、通常は時刻合わせする必要はありません。
- ただし、以下のときは時刻を合わせ直してください。**(➜44)**
  ・誤差が2分以上あるとき
  ・時刻表示が"0：00"で点滅しているとき

本体表示窓 0:00

自動バックアップ機能について
- 工場出荷時より約5年間は時刻を記憶しています。
- 設定した受信チャンネルや、予約内容も記憶しています。
- 停電に対応しています。
- 2分以内の誤差を自動修正する自動時刻合わせ機能を働かせると、より正確な時刻になります。**(➜44)**

CATVホームターミナル、テレビと接続する

準備 ● 各機器の電源を切っておく。(接続は乾いた手で行ってください)

1 **75Ω同軸ケーブル(別売)を**
接続する
(ご家庭のケーブルテレビ端子❶～ケーブル入力端子❷)

2 **75Ω同軸ケーブル(別売)を**
接続する
(ケーブル出力[VTRへ]端子❸～VHF/UHF･アンテナから入力端子❹)

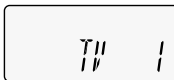
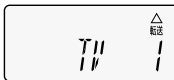
3 **75Ω同軸ケーブル(付属)を**
接続する
(VHF/UHF・テレビへ出力端子❺～ビデオRF入力[VTR出力から]端子❻)

4 **映像・音声コード(別売)を**
接続する
(映像・音声出力[VTR]端子❼～外部入力1(L1)端子❽)

5 **75Ω同軸ケーブル(別売)を**
接続する
(RF出力[TV入力へ]端子❾～VHF/UHFアンテナ入力端子❿)

6 **映像・音声コード(別売)を**
接続する
(映像・音声出力[TV]端子⓫～ビデオ入力端子⓬)

● VHF/UHFアンテナ、テレビと接続する**(➜左ページ)**の手順3～5も必要です。

- CATV放送をご覧になるには、CATV会社との受信契約が必要です。
- CATV会社と新たに受信契約をされたときは、CATV会社が接続してくれます。
- コピーガードやスクランブルのかかった有料番組を見たり録画したりするには、専用のホームターミナル(アダプター)(別売)が必要です。
- CATV放送の受信は、サービスエリア内のみ可能です。
  詳しくは、CATV会社にご相談ください。
- マニュアルチャンネル設定を正しく行ってください。**(➜18)**
  特に、各チャンネルのガイドチャンネルを設定しておかないと、Gコード予約ができません。
- リモコンの予約チャンネル表示設定を行ってください。**(➜31)**
  工場出荷時には、CATVチャンネルの予約チャンネル表示はすべてとばされています。
  このままでは、フリーセット予約ができません。
  必要なチャンネルを表示させてください。
- 有料番組を本機で受信してもコピーガードやスクランブルの影響できれいに映りません。
  有料番組を見たり録画したりするには、本機の入力をホームターミナルを接続した外部入力チャンネル(上図接続例の場合：“ L1 ”)に切り換えてください。
- ホームターミナルやCATV専用のチューナーなどを本機のリモコンで操作することはできません。

準備 2 設定する

テレビを操作できるようにする (テレビメーカー設定)

本機のリモコンでテレビの操作ができるようにします。

準備 ● テレビの電源を入れる。

1

[テレビ]にする

2

押し続けて
☎マークを出し、
さらに
2回押す

TV 1

3

メーカー番号を合わせる
数回押す

● テレビに向けて操作します。
● メーカー番号が合うと、テレビの電源が切れます。
● 複数の番号を持つメーカーは、音量調節などが正しく操作できる方の番号に合わせてください。

メーカー名	番号	メーカー名	番号
松下	① ⑩ ㉒ ㉓	パイオニア	⑬
アイワ	⑱	ビクター	⑭
NEC	⑥ ⑮	日立	⑤ ⑳
三洋	⑦ ⑯	富士通ゼネラル	⑨
シャープ	② ⑪ ㉑	フナイ	⑲
ソニー	③ ⑰	三菱	⑧ ⑫
東芝	④		

● 設定後、一覧表にあるメーカーの機種でも正しく操作できないときは、テレビに付属のリモコンで操作してください。

4

リモコンのふたを
閉じる

5

正しく操作できるか
確かめる

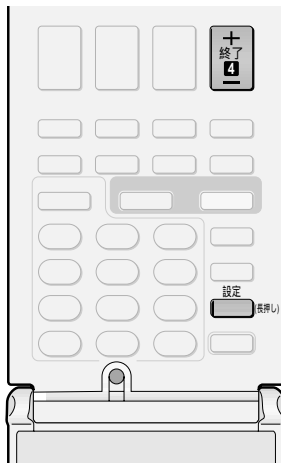
● テレビの電源を入れ、チャンネルを切り換えたり音量を調節してみてください。

● **リモコンの電池が完全に消耗し、長期間放置したままになっていると、設定はすべて消えます。この場合は、もう一度設定し直してください。**

テレビに本機の画面を出す

テレビに本機の画面が映るか確かめてください。
ビデオの映像を見るときも、下記の操作を行ってください。

■ふたをひらいたところ

映像・音声コードで接続したとき

1 **[テレビ]にする**

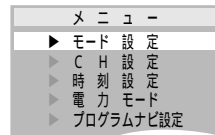
2 **テレビの入力をビデオ入力にする**
数回押す

- 例えば、テレビのビデオ1端子に接続しているときは、**「ビデオ1」**にするなど、本機を接続した入力に切り換えてください。

3 **[ビデオ]にする**

4 **電源を入れる**
押す

5 **本機の画面が映っているか確かめる**
押す

メニュー
▶ モード 設定
▶ CH 設定
▶ 時刻 設定
▶ 電力 モード
▶ プログラムナビ設定

- 図のようなメニュー画面がテレビに表示されていれば、本機の画面が映っていることになります。
- または録画済みのカセットを再生してみてください。

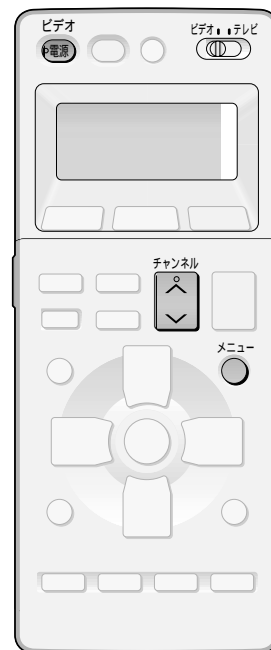
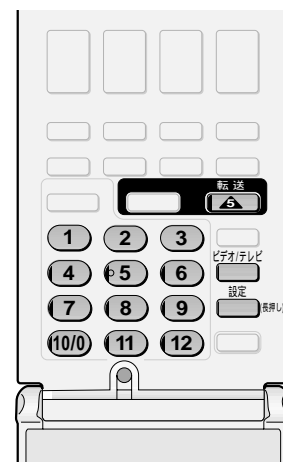
■メニュー画面を消す
[メニュー]を押す。

テレビに本機の画面を出す(つづき)

映像・音声コードで接続していないとき

映像・音声コードで接続していない方は、テレビの1または2チャンネルのどちらかあいている方を使って本機の画面を映します。(ビデオ専用チャンネル)

まず、ビデオ専用チャンネルを決める

1. ビデオ テレビ **[ビデオ]にする**
2. ビデオ 電源 電源を入れる **押す**
3. メニュー **5秒以上押し続ける** 本体表示窓 ----
   - "----"が表示されます。
4. チャンネル "CH 1"または"CH 2"を選ぶ **数回押す** 本体表示窓 CH 2
   - 放送がない方(テレビで本機の画面を見る方)のチャンネルを選んでください。
   - 押すごとに、"CH 1"⟷"CH 2"⟷"----"(切)と変わります。(工場出荷時は"----")
5. メニュー **押す**

■ふたをひらいたところ

1. ビデオ テレビ **[テレビ]にする**
2. 1 または 2 本機の画面を見るためのチャンネルを選ぶ **押す**
   - 「まず、ビデオ専用チャンネルを決める」(➜上記)で"CH 1"を選んだときは**[1]**、"CH 2"を選んだときは**[2]**を押してください。
3. ビデオ テレビ **[ビデオ]にする**
4. ビデオ 電源 電源を入れる **押す**
5. ビデオ/テレビ "ビデオ"を表示させる **押す** 本体表示窓 ビデオ
6. メニュー 本機の画面が映っているか確かめる **押す** テレビ画面
   - または録画済みのカセットを再生してみてください。

メニュー
▶ モード 設 定
▶ CH 設 定
▶ 時 刻 設 定
▶ 電 力 モード
▶ プログラムナビ設定

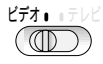
- 図のようなメニュー画面がテレビに表示されていれば、本機の画面が映っていることになります。

■メニュー画面を消す

[メニュー]を押す。

市外局番でチャンネルを合わせる (市外局番入力チャンネル設定)

お使いになる地域の市外局番を使って、受信チャンネルを設定します。

準備

- アンテナが正しく接続されているか確かめる。
- テレビに本機の画面を出す。(➜15,16)
- ビデオ/テレビスイッチを[ビデオ]にする。

1

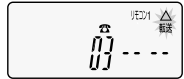
☎マークが出るまで
押し続ける

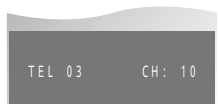
リモコン表示部

2 下記の表で、お住まいの都市またはその都市に近い
市外局番を確かめる

- 市外局番に変更があったときでも、下記一覧表の番号を入力してください。
- 間違えたときはリモコンのふたを一度閉じ、最初からやり直してください。

3 (1)～(10/0)

市外局番を入力する
押す

4

押す

- オートサーチが始まります。(約1分間)

5

または

オートサーチが終わったら、
すべてきれいに受信できているか
チャンネルを切り換えて確かめる
数回押す

- [1]～[12]は、市外局番入力チャンネル設定一覧表(➜56)にあるチャンネルポジション1～12の放送局を直接選ぶことができます。

- 実際に受信できなかったチャンネルはとばされます。
- 新たに受信できたチャンネルは、チャンネルポジション13～20(愛媛県は14～20)に追加登録されます。
- 設定される各放送局の受信・表示・ガイドチャンネル一覧については、市外局番入力チャンネル設定一覧表(➜56)をご覧ください。

同じ放送局が複数のチャンネルポジションに設定されているとき
- 必ず映りの悪い方のチャンネルを削除してください。(➜19)

受信できるチャンネルがとばされていたり、映りの悪いチャンネルがあるとき
- マニュアルチャンネル設定(➜18～19)で、必要な設定を行ってください。

最初から設定し直したいとき
- 右記手順3で、[10/0]を6回押し、「000000」と入力して転送すると、本機のチューナーが工場出荷時の状態に戻ります。

  VHF/UHFチャンネル
  VHFの1～12チャンネルが受信できる状態
  CATVチャンネル
  すべてのチャンネルがとばされた状態
  外部入力チャンネル
  すべてのチャンネルが使える状態
- ガイドチャンネルはすべてのチャンネルで設定されていませんので、このままではGコード予約はできません。

市外局番一覧表 (設定される放送局名など、詳しい内容については56ページをご覧ください)

都市名	市外局番	都市名	市外局番	都市名	市外局番	都市名	市外局番	都市名	市外局番
札幌	011	鶴岡	0235	長野	026	神戸	078	新居浜	0897
旭川	0166	福島	024	飯田	0265	奈良	0742	高知	0888
北見	0157	会津若松	0242	富山	0764	和歌山	073	福岡	092
帯広	0155	いわき	0246	金沢	076	鳥取	0857	北九州	093
釧路/室蘭	0154/0143	水戸	029	福井	0776	松江	0852	佐賀	0952
函館	0138	宇都宮	028	静岡	054	浜田	0855	長崎	095
青森	017	前橋	027	浜松	053	岡山	086	熊本	096
八戸	0178	さいたま	048	岐阜	058	広島	082	大分	097
秋田	018	千葉	043	名古屋	052	福山	0849	宮崎	0985
大館	0186	東京	03	津	059	山口	083	延岡	0982
盛岡	019	横浜	045	大津	077	高松	087	鹿児島	099
仙台	022	甲府	055	京都	075	徳島	088	阿久根	0996
山形	023	新潟	025	大阪	06	松山	089	那覇	098

自分でチャンネルを合わせる (マニュアルチャンネル設定)

市外局番入力チャンネル設定で正しく設定されなかったときや、きれいに映るはずのチャンネルがとばされているとき、選局の順番を入れ替えたいとき、ガイドチャンネルが設定されていないときなどに操作します。

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜15,16)
- ビデオ/テレビスイッチを[ビデオ]にする。

VHF/UHF、CATVチャンネルの設定

1

押す

2

[▼]で「CH設定」を選び、
[実行]を押す

3

[◀]で「PO」を選び、
放送局を登録させたい位置(チャンネルポジション)を選ぶ
[▲][▼]を数回押す

PO:チャンネルポジション

4

[▶]で各項目を選び、設定する
[▲][▼]を押す

- 押し続けると10ずつ変わります。

例)東京でチャンネルポジション「3」にNHK教育テレビを登録する

❶「CH」…希望の放送局が映るようにする
【例では「3」に合わせる】
放送局から実際の電波を受信します。
新聞・雑誌などに載っているチャンネルとは違う数字になる地域もあります。

❷「表示」…受信した放送局の表示を決める(チャンネル番号)
【例では「3」に合わせる】
決めた数字は、本体表示窓やテレビ画面に表示され、フリーセット予約を行うときもこの数字でチャンネルを合わせます。
新聞・雑誌などに載っているチャンネル数字にしておくと選びやすくなります。実際の受信チャンネルとは違う数字になる地域もあります。

❸「ガイドCH」…Gコード予約ができるようにする
【例では「90」に合わせる】
ガイドチャンネルは各放送局ごとに決まっています。市外局番入力チャンネル設定一覧表(➜56)の「ガイドCH」の項目にある数字に合わせてください。合わせていないとGコード予約できません。

実行 このあと、[実行]を押すと、次のチャンネルポジションに進み、次の放送局の登録ができます。

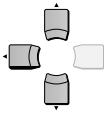
5

押す

- [▲]を押すごとに、下記のように変わります。([▼]を押すと逆方向)
  - **VHF/UHFチャンネル**(1 → 2 …→ 20)
  ↓
  - **CATVチャンネル**(C13 → C14 …→ C63)
  ↓
  - **外部入力チャンネル**(L1→ L2)
  ↓
  - **拡張チャンネル**(01 → 02 …→ 07)
- VHF/UHFチャンネルを設定するときは、“ 1 ”〜“ 20 ”から選んでください。
- チャンネルポジション表示の変わりかた
  - ・VHF/UHFチャンネル設定時……………PO
  - ・CATVチャンネル設定時……………CH
  - ・外部入力チャンネル(L1〜L2)設定時……入力
  - ・拡張チャンネル設定時……………PO

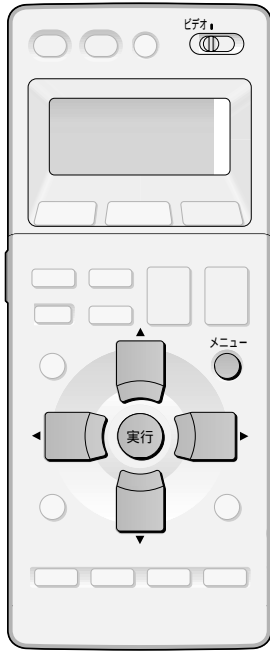
  ※POは“ Position(ポジション) ”の略です。
- 拡張チャンネルは、将来のシステムに対応するもので、現在は使えません。
  市外局番入力チャンネル設定を行うと、自動的に設定されますが、実際の操作には関係ありません。

CATVのときは
[▲][▼]のどちらかを押して表示を出す
例) “ C−− ”→“ C13 ”
- “ C−− ”になっていると受信できません。

- CATVによっては、BS放送をVHF/UHFチャンネルに置き換えて放送しているところがあります。このときは、Gコード予約するためのガイドチャンネルを以下の表のとおり合わせてください。

放送局名	受信チャンネル	ガイドチャンネル
	BS 1	71
	BS 3	72
WOWOW	BS 5	73
NHK衛星第1	BS 7	74
ハイビジョン放送	BS 9	75
NHK衛星第2	BS11	76
	BS13	77
	BS15	78

不要なチャンネルの削除

ノイズ画面のチャンネルが設定されているときや、選局の順番を入れ替えたいときなどに操作します。

左ページ手順2のあと、

3

[◀]で「PO」を選び、削除したい放送局が入っているチャンネルポジションを選ぶ

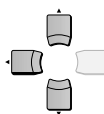
[▲][▼]を押す

4

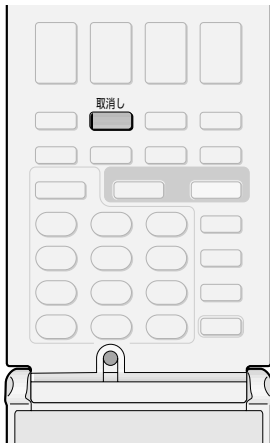
押す

例)チャンネルポジション「7」の放送局を削除

5

押す

映りの悪いチャンネルの微調整

ノイズがあるときや、色が付いていないときなどに操作します。

左ページ手順2のあと、

3

[◀]で「PO」を選び、微調整したい放送局が入っているチャンネルポジションを選ぶ

[▲][▼]を押す

4

[◀][▶]で「微調整バー」を点滅させ、

[▲][▼]のどちらかを数回押す

- 色が付いていないとき…[▲]
- しま模様が出るとき……[▼]
  (“ ▮▮ ”にすると、元の状態に戻ります)
- 受信状態によっては、調整しきれないことがあります。

5

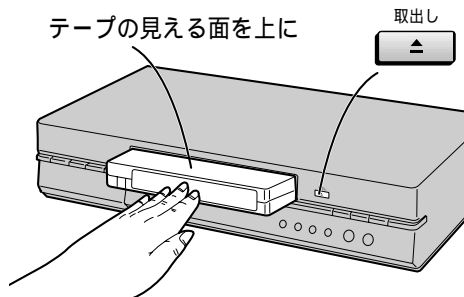
押す

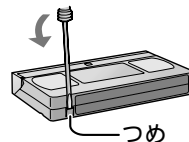
■ふたをひらいたところ

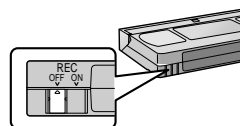
再生する

カセットを入れる

テープが見える面を上にして、
ゆっくり入れる
● 自動的に電源が入ります。

■取り出す
【本体】[取出し⏏]を押す。
■リモコンで取り出す
[停止■]を約3秒以上押す。

● ２ 、 ３ 、 ； マークの付いたカセットが使えます。
● メニュー「プログラムナビ設定」→「プログラムナビ」を「入」にしているときは、カセットを入れるとテレビ画面に“ プログラムナビデーター確認中 ”と表示されます。**(➜34)**
● カセットは、電源が切れていても取り出せます。
● 次のときは、カセットは取り出せません。
・録画中(リモコンで取り出そうとすると、録画が停止します)
・予約録画中、または予約録画の待機中

録画済みの番組を誤って消さないために
● 誤消去防止用の「つめ」を折ってください。

● 再び録画できるようにするには、折ったところにセロハンテープを二重にはってください。(「つめ」の代わりになります)

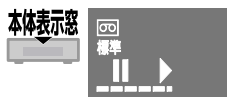
● 誤消去防止つまみタイプのカセットは、つまみをスライドさせて“ OFF ”にしてください。

“ ON ”に戻すと、再び録画できます。
カセットの説明書もよくお読みください。

再生する

準備

● 録画済みのカセットを入れる。**(➜上記)**
● テレビに本機の画面を出す。**(➜15,16)**
● **ビデオ/テレビスイッチ**を**[ビデオ]**にする。

1

押す

2 **■停止する**

押す

3 **■早送り(巻き戻し)する**

停止中に、
押す

■高速で巻き戻しする(高速リターン)

押す
● テープカウンター表示は出ません。

本体表示窓の動作について

● テープの進行方向に向かって、バーが繰り返し移動します。バーの移動速度は、再生や早送りなど、動作によって変わります。

テープ残量の目安について

● 録画・再生中のテープの残量をバーの長さで確かめることができます。
テープ残量が少なくなるにつれて、バーが減っていきます。
● カセットを入れた直後は、再生を始めてからバーが表示されるまでに多少時間がかかります。

高速リターンについて
● 高速で巻き戻すため、動作音が大きくなります。また、**[停止■]**を押しても、テープ保護のため止まるまで時間がかかります。
● カセットや使用環境によっては速度が多少変わります。
● 始端まで巻き戻すと、テープカウンターは“ 0：00．00 ”になります。
● 途中で停止しても、テープカウンターの値は正しく表示されません。

● 誤消去防止用の「つめ」の折れた、または誤消去防止つまみが“ OFF ”になっているカセットを入れると、自動的に再生を始めます。
● カセットが入っているときは、電源が切れていても、**[▶再生]**を押すだけで再生を始めます。
● テープの終わりまで早送りすると、自動的に停止します。
● 5倍モードで録画されたカセットの再生時は、トラッキングが自動調整されるまでに多少時間がかかることがあります。
また、カセットによっては自動調整できないこともあります。
このときは、手動でトラッキングを調整してください。**(➜39)**
● 早送り(巻き戻し)は高速で行うため、動作音が大きくなります。
また、**[停止■]**を押しても、テープ保護のため止まるまで時間がかかります。
● デジタル(D-VHS)方式で録画された ； カセットは再生できません。

いろいろな再生

準備

● テレビに本機の画面を出す。(➜15,16)
● **ビデオ/テレビスイッチ**を[**ビデオ**]にする。

● 音声は出ません。
● テープ位置によっては、速度が多少変わることがあります。
● お使いになるテレビによっては、映像が乱れることがあります。
● 5倍モードで録画された部分では画面が乱れます。

早送り(巻き戻し)しながら見る

1

再生中に、
押し続ける

● 指を離すと通常再生に戻ります。

または

再生中に、
短く押す

● **指を離しても早送り(巻き戻し)再生できます。**
● [**▶再生**]を押すと通常再生に戻ります。
● 約10分以上続けたときは、テープとヘッド保護のため、通常再生に戻ります。

● 音声は出ません。
● 15倍速(50倍速)時に映像が乱れるときは、10倍速(30倍速)に切り換えてご覧ください。
● 5倍モードで録画された部分はブルーバック画面になり、映像を見ることはできません。
● お使いになるテレビによっては、映像が乱れることがあります。
● テープ位置によっては、速度が多少変わることがあります。
● 約10分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため、通常の再生に戻ります。

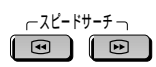
高速で早送り(巻き戻し)再生する (スピードサーチ)

通常再生の約15倍速(標準)、約50倍速(3倍)で見ることができます。

1

押す

テレビ画面

再生▶▶

再生◀◀

⏩：早送り方向
⏪：巻き戻し方向

さらに、速度を切り換えたいときは
同じ方向のボタンをもう一度
押す

● 押すごとに、
標準のとき： 約15倍速⟷約10倍速
3倍のとき： 約50倍速⟷約30倍速
と変わります。

■通常再生に戻す
[**▶再生**]を押す。

静止画・スローで見る

● 音声は出ません。
● 5倍モードで録画された部分では画面が乱れます。
● 静止画再生を約5分以上、スロー再生を約10分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。

1

■静止画再生

一時停止/スロー

再生中に、
短く押す

■スロー再生

再生中に、
約2秒以上押し続ける

■通常再生に戻す
[**▶再生**]を押す。
● 静止画再生のときは、もう一度[**一時停止/スローII/I▶**]を押しても、通常再生に戻ります。

再生する(つづき)

いろいろな再生 (つづき)

番組を繰り返し見る(自動巻戻し再生)

同じ番組を繰り返して見ることができます。

1

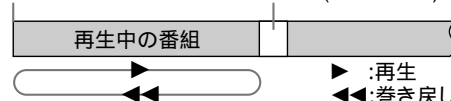
再生中に、
5秒以上押す

- この機能は解除するまで働き続けます。

■解除する

もう一度、[▶**再生**]を押す。
- 停止、早送り、巻き戻し、一時停止などの操作をしても解除されます。

- 番組の終わりに未録画部分が約5秒以上あるときに、正しく働きます。(未録画部分がない、または短かすぎると、次の番組まで再生されてしまいます)

テープの始端　**未録画部分(約5秒以上)**

- 再生中の番組よりも前の部分に、約5秒以上の未録画部分があるときは、テープの始端からその部分までを繰り返して再生します。

- テープの始端に未録画部分が約5秒以上あるときは、録画部分まで早送り再生し、そのあと再生します。

CMを早送りして見る(自動CM早送り再生)

CMを自動的に早送りして再生できます。

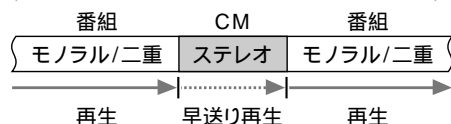
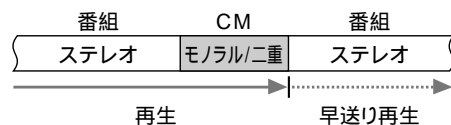
1

再生前または再生中に、
押す

- “ 自動CM早送り 入 ”を表示させます。
- CM中に押したときは、そのCMの間は正しく働きません。

■解除する

[CM]を押し、“ 自動CM早送り 切 ”を表示させる。
- 電源を切っても解除されます。

- 番組がモノラル放送または二重放送(2カ国語放送など)で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。
(CMの前後が少し切れた状態で再生されます)

- 次のようなときは正しく働きません。
・番組がステレオ放送のとき
(CMも通常どおり再生されます)
・CMがモノラル放送または二重放送のとき

・CM以外でも、音声がモノラルや二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
・本機、または当社の同機能付きビデオで録画していないカセットを再生するとき
・外部入力録画(BSデジタル/CSデジタル放送を含む)したカセットを再生するとき

画質を変えて見る

通常の再生画質以外に、2種類の画質に切り換えることができます。
レンタルソフトなどを見るときに、用途に合わせて切り換えてください。

1

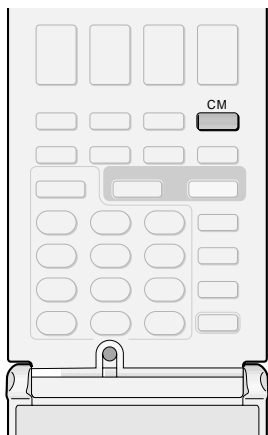
再生中に、
数回押す

- 以下から、好みの画質を選んでください。

■スタンダード(工場出荷時)
通常の画質です。
■ダイナミック
輪郭をすっきりさせ、メリハリのある映像が楽しめます。
■ソフト
通常の画質よりもソフトな映像にします。

- 再生中の画質を変えるための機能ですので、それ以外では働きません。

■ふたをひらいたところ

再生・録画

録画する

テレビ番組を録画する

準備

- テレビに本機の画面を出す。**(➜15,16)**
- **ビデオ/テレビスイッチ**を**[ビデオ]**にする。
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。**(➜20)**

1

チャンネルを選ぶ
押す

- **[1]**〜**[12]**は、市外局番入力チャンネル設定一覧表**(➜56)**に記載されているチャンネルポジション1〜12の放送局を選ぶことができます。(市外局番入力チャンネル設定だけで受信チャンネルを設定した方のみ)

2

録画モードを選ぶ
数回押す

3倍

標準：カセットに表示されている時間の録画ができます。
3倍：標準に対して3倍の録画ができます。
5倍：標準に対して5倍の録画ができます。

- 録画時間を長くしたいときは" 3倍 "" 5倍 "から選びます。
- 画質を重視するときやカセットを長期間保存されるときは、" 標準 "を選んでください。

5倍モードについて

- 録画を始めたあとの約8秒間、本体表示窓の" 5倍 "が点滅します。
- 本機で5倍モードで録画したカセットは、他のビデオでは再生できません。
  カセットのラベルに「5倍」と記入するなどして、区別されることをおすすめします。
- より高画質で録画・再生するときは、　3　カセットを使ってS-VHS方式で録画してください。
- S-VHS ETで録画することはできません。
  メニュー「モード設定」→「S-VHS ET録画」を「入」にしても働きません。**(➜42)**

3

押す

さらに録画中に…

■一時停止したい

押す

- 再開したいときは、もう一度押します。
  [録画●]を押しても再開できます。

■CMをとばして録画したい(CMカット録画)

" ✂ "を表示させる

押す

- CM中に押したときは、そのCMの間はとばすことができません。

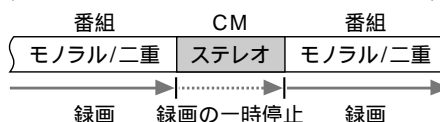
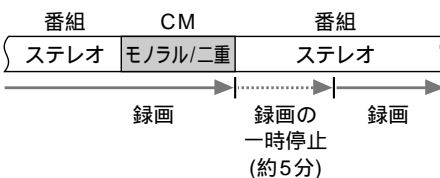
- 番組がモノラル放送または二重放送(2カ国語放送など)で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。
  (CMの前後が少し切れた状態で録画されます)

- 次のようなときは、正しく働きません。
- ・番組がステレオ放送のとき

番組	CM	番組
ステレオ	ステレオ	ステレオ

録画

・CMがモノラル放送または二重放送のとき

番組	CM	番組
ステレオ	モノラル/二重	ステレオ
録画	録画の一時停止(約5分)	録画

(このようなときは、次のCMからはCMカットは働きません)

・CM以外でも、音声がモノラル放送や二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
・外部入力チャンネル(BSデジタル/CSデジタル放送を含む)を録画するとき

CMカットを解除する

もう一度、**[CM]**を押す。

- " ✂ "が消えます。電源を切ったとき、録画の一時停止にしたときも解除されます。

■録画をやめる

[停止■]を押す。

- 録画中にチャンネルを変えることはできません。
  (録画の一時停止中は変えることができます)
- 録画の一時停止を5分以上続けると、テープとヘッド保護のため停止します。
- 　；　カセットを使っても、デジタル(D-VHS)方式では録画できません。
  (S-VHS方式で録画されます)

録画中にテレビで別番組を見る

録画中に、テレビで別のチャンネルの番組を見ることができます。

- 録画に影響はありません。
- 予約録画中もこの手順でテレビ番組を見ることができます。

映像・音声コードで接続したとき

1 録画中に、
[テレビ]にする

2 テレビが受信しているチャンネルに切り換える
数回押す

3 見たいチャンネルを選ぶ
1〜12 **押す**

映像・音声コードで接続していないとき

1 録画中に、
“ ビデオ ”表示を消す
押す

本体表示窓 ビデオ 消す

2 **[テレビ]にする**

3 見たいチャンネルを選ぶ
1〜12 **押す**

■ふたをひらいたところ

録画する(つづき)

VHSカセットにS-VHSの画質で録画する(S-VHS ET録画)

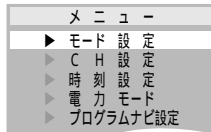
- テレビに本機の画面を出す。(➜15,16)
- **ビデオ/テレビスイッチ**を**[ビデオ]**にする。

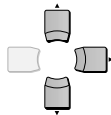
2 カセットにS-VHSの画質で録画できます。

- 下記の操作をして 2 カセットを入れると、本体表示窓に“ S-VHS ET ”が点灯し、S-VHS ET録画できるようになります。
  また、S-VHS ET録画された番組の再生中にも点灯します。

1

押す

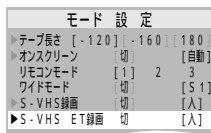
2

「モード設定」が選ばれている状態で、
押す

3

「S-VHS ET録画」を選ぶ
[▲][▼]を押す

「入」を選ぶ
[▶]を押す

モード 設 定			
テープ長さ	[−120]	−160	180
オンスクリーン	切		[自動]
リモコンモード	[1]	2	3
ワイドモード	切		[S 1]
S-VHS録画	切		[入]
S-VHS ET録画	切		[入]

4

押す

S-VHS ETとは

- Super VHS Expansion Technology(スーパーブイエッチエスエクスパンション テクノロジー)の略です。
- S-VHS ET録画したカセットは、ラベルに「S-VHS ET」と記入するなどして区別されることをおすすめします。
- S-VHS ET録画した 2 カセットは下記のビデオでも再生できます。
  - ・S-VHSビデオ
  - ・SQPB(S-VHS簡易再生)機能付きVHSビデオ(機種によっては再生できないものがあります)

- 5倍モードでは録画できません。(「入」にしても働きません)
- カセットの種類によっては、十分な画質が得られないことがあります。
  あらかじめ試し録画をして、画質を確認されることをおすすめします。
  高画質で録画できるカセットの目安として、当社製のHG(ハイグレード) 2 カセットをおすすめします。
- 次のようなときは、画面が一瞬乱れることがあります。
  - ・「入」の状態で、ふつうのVHS録画した番組を再生したとき
  - ・「切」の状態で、S-VHS ET録画した番組を再生したとき
- より高画質で録画、再生、長期保存をするときは、 3 カセットを使ってS-VHS方式で録画してください。

終了時刻だけを予約して録画する
(終了時刻予約録画)

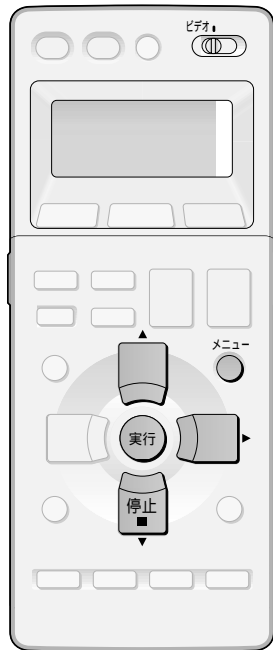
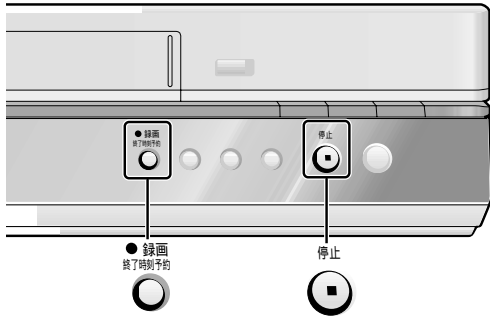
指定した時刻になると、自動的に録画をやめ電源を切ります。

- 急なお出かけの際や、おやすみになる前などに、簡単な予約録画として
  お使いください。

1 ● 録画 終了時刻予約 【本体】

録画中に、
押す

本体表示窓 終了

- 本体表示窓に“ 終了 ”と“ ーー：ーー ”が表示されます。

2 ● 録画 終了時刻予約

続けて数回押す

- 30分単位で録画終了時刻が変わります。
- 最大2時間先まで予約できます。
- 本体表示窓は下図のように変わります。

■解除する

本体の[**●録画/終了時刻予約**]を数回押し、録画終了時刻を“ ーー：ーー ”にする。

- 終了時刻予約録画は解除されますが、録画は続けられます。
- 録画もやめるには、[**停止■**]を押します。

- リモコンの[**録画●**]では働きません。
- 予約録画(Gコード予約やフリーセット予約)中は働きません。

再生・録画

予約録画する

Gコードで予約する

予約したい番組のGコードをリモコンに入力し、本機に転送するだけで予約できます。
最大16番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は1番組として数えます)

準備

- テレビに本機の画面を出す。**(➜15,16)**
- **ビデオ/テレビスイッチ**を**[ビデオ]**にする。
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。**(➜20)**

Gコードとは

新聞などのテレビ番組欄で、各番組に付けられている数字のことです。(最大8けた)

00 夜のワイドショー
▽私の結婚観 田村純子
▽あの有名選手に迫る
市原幸子 松公子 78864
55 Ⓝ天 20668

- Gコード予約した番組は、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。
- Gコードシステムとは、ジェムスター社が開発した簡単予約録画システムです。

予約を正しく行うために

- ガイドチャンネルを正しく設定してください。
  複数のチャンネルポジションに同じガイドチャンネルが設定されていると、正しく予約できません。不要なチャンネルを削除してください。

1

リモコンのふたを開けて、
押す

リモコン表示部

2

Gコードを入れる

- 間違えて押したときは、**[Gコード]**を2回押し、入れ直してください。

さらにお好みで…

■録画モードを選びたい

標準/3倍/5倍

数回押す

- "標準"、"3倍"、"5倍"、"標準3倍"から選びます。
- "標準3倍"について、詳しくは**(➜右ページ)**

- 選ばなくても予約できます。
  ただし、本体の現在の録画モードによって、以下のように自動的に設定されます。
  - 本体が「標準」のとき→**"標準3倍"**
  - 本体が「3倍」のとき→**"3倍"**
  - 本体が「5倍」のとき→**"5倍"**

■CMをとばして録画したい(CMカット予約)

CM

押す

- "✂"を表示させます。
- 詳しくは**(➜24,右ページ)**

■野球放送などの延長に備えて、録画終了時刻を延長しておきたい(予約延長)

予約延長

数回押す

- 15分～120分まで延長できます。
- 詳しくは**(➜右ページ)**

3

押す

- 転送後は、テレビ画面に"Gコード"→"予約内容"の順に表示されます。
  "予約内容"画面は、テープ残量も表示されます。
  転送時の本体の録画モード(標準、3倍または5倍)で計算されます。
  ただし、カセットを入れた直後など、残量計算されていないときは表示されません。
- さらにその約14秒後に予約録画の待機状態になります。(本体表示窓に"🕘"が表示されます)
  テレビ画面に予約内容が出ている間に**[確定]**を押しても予約録画の待機状態になります。

転送直後に予約内容を修正する

- テレビ画面に予約内容が出ている間(約14秒間)は、以下のボタンで修正できます。

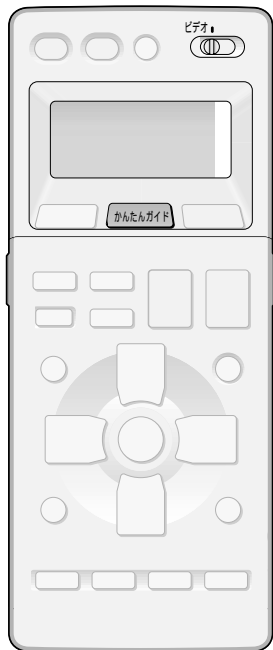
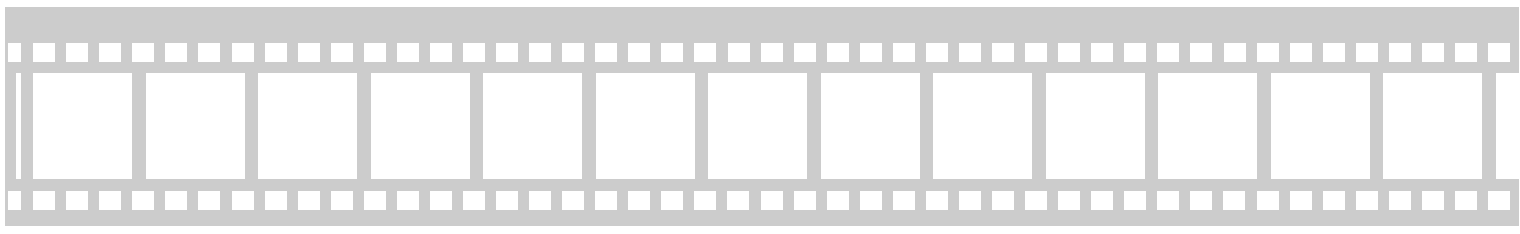
[1曜日/日]	：毎日・毎週予約など**(➜30)**
[2チャンネル]	：予約チャンネル
[3開始]	：開始時刻
[4終了]	：終了時刻
[CM]	：CMカットする・しない
[標準/3倍/5倍]	：録画モードの変更
[予約延長]	：終了時刻の延長**(➜右ページ)**

- 「CH」の項目が"G－－"(点滅)になっているときは、予約したチャンネルのガイドチャンネルが正しくありません。

  このときは、
  [＋チャンネル－]で、予約したいチャンネルに合わせ、**[確定]**を押す。
  予約が完了し、ガイドチャンネルも設定されます。

■続けて予約を追加する
手順1～3を繰り返す。(予約待機状態でも予約できます)

■予約録画の待機状態になったあとに予約内容を修正したいとき
予約内容を修正する**(➜32)**

- テレビ画面に"予約ミス"と表示されたときは、設定が間違っています。
  もう一度最初から予約し直してください。
- 本体表示窓に"FULL"と表示されたときは、すでに16番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。**(➜32)**

■ふたをひらいたところ

予約した番組が野球中継延長などで遅れたり、予定より延長されたとき

- Gコード予約は、番組開始・終了の予定時刻で予約するため、このようなときは番組の最初から最後までを録画することはできません。
ただし、前もって終了時刻を延長しておくことはできます。**(➜下記)**

BS放送の番組を予約するとき

- BSチューナー内蔵テレビが必要です。**(➜46)**

標準3倍(ぴったり録画)について

[標準/3倍/5倍]で“ 標準3倍 ”を選ぶと、標準モードで予約録画を始め、途中でテープ残量が足りなくなってくると、自動的に3倍モードに切り換えて番組の最後まで録画します。

- テープ残量よりも長い番組の予約録画中に、1番組ごとに働きます。
例)2番目の番組の途中から3倍モードで録画

予約内容

1番目(30分)	2番目(60分)	

実際の録画状態

“ 標準 ”で 30分録画	“ 標準 ”で 15分録画	“ 3倍 ”で 45分録画

(60分カセットを使ったとき)

- 番組の最初から3倍モードで録画してもテープが足りないときは、番組の最後まで録画できません。
- CMカットも働かせたときは、CMをとばした分だけ録画時間が短くなるため、テープが余ることがあります。
- ぴったり録画中に予約延長も働かせたときは、その時点で番組の残り時間とテープ残量を計算し直します。(ただし、一度予約延長を行って3倍モードに切り換わる番組は、後から延長時間を短くしても標準モードには戻りません)
- 5倍モードでは働きません。
- 外部入力チャンネル(BSデジタル/CSデジタル放送など)では働きません。
- 以下のときは正しく働かないことがあります。
  - ・メニュー「モード設定」の「テープ長さ」を正しく合わせていないとき
  - ・品質の悪いカセットを使ったとき

CMを自動的にとばして予約録画したいとき(CMカット予約)

- 予約録画される番組によっては、正しく働かないことがあります。**(➜24)**
- 予約録画開始直後がCM中のときは、そのCMの間は働きません。
ただしCM中でもモノラル音声のCMからステレオ音声のCMに換わったときは働きます。

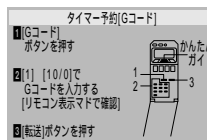
予約録画の終了時刻を延長する(予約延長)

- 予約した番組の終了時刻を最大2時間先まで延長できます。
- **[予約延長]**を押すごとに延長される時間が変わります。
15分→30分→45分→60分→90分→120分→延長しない

Gコード予約のしかたがわからないとき (かんたん予約ガイド)

テレビ画面の指示に従ってGコード予約の操作ができます。

1 かんたんガイド **押す**

- 表示を消すには、2回押します。

予約録画する(つづき)

Gコードなしで予約する (フリーセット予約)

予約したい番組の予約日、予約チャンネル、開始時刻、終了時刻などをご自分で設定する予約方法です。
最大16番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は1番組として数えます)

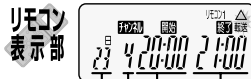
準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜15,16)
- **ビデオ/テレビスイッチ**を**[ビデオ]**にする。
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜20)

- 予約の際に各ボタンを押しても、リモコン表示窓が右図のまま動かないときは、**[確認]**を押すと元に戻ります。

1

予約する

リモコン表示部

1予約日
2予約チャンネル
3開始時刻
4終了時刻

さらにお好みで…

■録画モードを選びたい

数回押す

- “ 標準 ”“ 3倍 ”“ 5倍 ”“ 標準3倍 ”から選びます。
- “ 標準3倍 ”について、詳しくは(➜29)

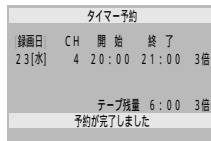
■CMをとばして録画したい(CMカット予約)

押す

- “ ✂ ”を表示させます。
- 詳しくは(➜24)

2

押す

テレビ画面

すぐに予約録画を始めたいとき
2**予約チャンネル**と4**終了時刻**だけ合わせて**[転送/修正(長押し)]**を押すと、終了時刻までの予約録画を始めます。

■続けて予約を追加する
手順1～2を繰り返す。(予約待機状態でも予約できます)

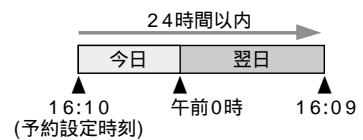
■予約録画の待機状態になったあとに予約内容を修正したいとき
予約内容を修正する(➜32)

- 本体表示窓に“ FULL ”と表示されたときは、すでに16番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。(➜32)

BS放送の番組を予約するとき
- BSチューナー内蔵テレビが必要です。(➜46)

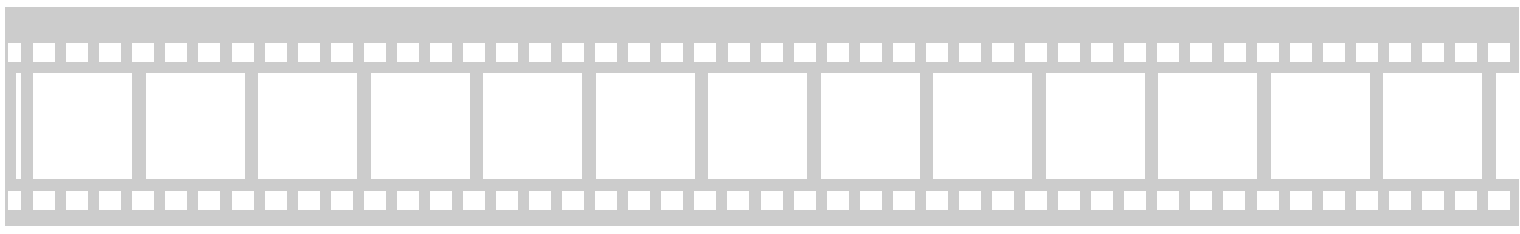
1予約日(曜日/日)の変わりかた
[＋]側を押すごとに、
→**今日の予約**
(今の時刻から、24時間以内に始まる番組を予約)
現在時刻が16時10分ならば、翌日の16時09分までが“ 今日 ”になります。

24時間以内
今日	翌日

16:10 (予約設定時刻)　午前0時　16:09

→**1週間以内**(日→月→火→水→木→金→土)
→**1カ月以内**(1→2→3→…→29→30→31)
→**毎日**(毎週日～土→毎週月～土→毎週月～金)
→**毎週**(毎週日→毎週月→毎週火→…→毎週土)
と変わります。(**[－]**側を押すと逆方向)
- 毎日・毎週予約をしたときは、予約録画終了後も予約内容は消去されません。

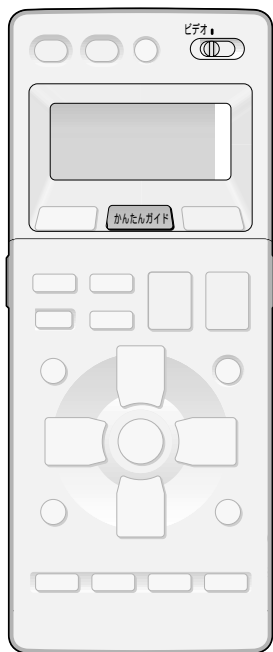
2予約チャンネルの変わりかた
[＋]側を押すごとに、
→**VHF/UHF**(1→2→3→…→62)
→**BS**(BS1→BS3→…→BS15)
→**CATV**(C13→C14→…→C63)
(工場出荷時はとばされています)
→**外部入力**(L1→L2)
と変わります。(**[－]**側を押すと逆方向)
- 押し続けると、10ずつ変わります。
- 必ず本体表示窓やテレビ画面に表示されるチャンネルで合わせてください。
それ以外のチャンネルは予約できません。

3開始時刻・4終了時刻の変わりかた
- 押し続けると、30分単位で変わります。
- 時刻は24時間表示です。

- 転送後、テレビ画面に“ 予約内容 ”が表示され、テープ残量も表示されます。転送時の本体の録画モード(標準、3倍または5倍)で計算されます。ただし、カセットを入れた直後など、残量計算されていないときは表示されません。
- さらにその約14秒後に予約録画の待機状態になります。(本体表示窓に“ ⏲ ”が表示されます)
テレビ画面に予約内容が出ている間に**[確定]**を押しても予約録画の待機状態になります。

リモコンの予約チャンネル表示を設定する

本体の表示チャンネルに合わせて、使わない予約チャンネルはとばしておくと、素早く合わせせることができます。
- CATVを受信される方は、必ず下記の操作を行って必要な予約チャンネルを表示させてください。
(工場出荷時は、CATVチャンネルはすべてとばされています)

■ふたをひらいたところ

1 設定(長押し)

☎マークが出るまで押し、**さらに1回押す**

リモコン表示部

2

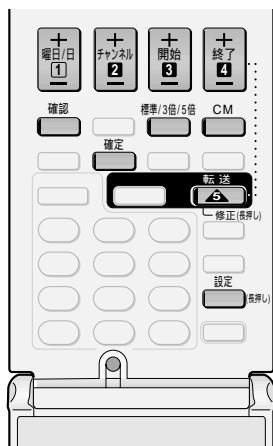
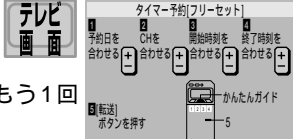
とばしたい(表示させたい)予約チャンネルを選ぶ
数回押す
- 押し続けると、10ずつ変わります。

3

“OFF”か“On”を選ぶ
押す

OFF：とばす
On　：表示させる

4

リモコンのふたを
閉じる

- 必ず表示チャンネル(本体で表示させているチャンネル)で設定してください。
- 2つ以上のチャンネルをとばしたい(表示させたい)ときは、手順2～3を繰り返してください。
- とばされたチャンネルは、フリーセット予約できません。

フリーセット予約のしかたがわからないとき (かんたん予約ガイド)

テレビ画面の指示に従ってフリーセット予約の操作ができます。

1 かんたんガイド

2回押す
- 表示を消すには、もう1回押します。

テレビ画面

予約録画

予約録画する(つづき)

予約内容を確認する・取り消す・修正する

予約済みの内容をテレビ画面で確認・取り消し・修正することができます。
また、本体表示窓で予約内容を確認することができます。
● 電源が入っているとき、または予約録画の待機状態で操作してください。

準備

● テレビ画面で確認・取り消し・修正するときは、テレビに本機の画面を出す。(➜15,16)
● **ビデオ/テレビスイッチ**を**[ビデオ]**にする。

確認する・取り消す

1

押す
● テレビ画面に予約一覧画面が、本体表示窓に予約一覧画面で選ばれている予約内容が、それぞれ表示されます。

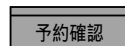
テレビ画面

録画日	CH	開始	終了	
26[土]	8	16:00	17:00	3倍
25[金]	6	19:00	20:00	標準
23[水]	4	20:00	21:00	3倍
--[-]	--	--:--	--:--	標3

本体表示窓

● 本体表示窓の予約内容表示は約14秒後に消えます。
● 確認のみのときは、このあと**[確定]**を押すと、表示が消えます。
約1分そのままにしたときは、**[確定]**を押さなくても消えます。
● 予約一覧画面では、予約設定した順に予約内容が表示されますが、録画は予約内容の日付、時刻順に行われます。

本体のボタンで確認する

【本体】

押す
● 約1分そのままにしておくと消えます。
(予約した数だけ数回押しても消えます)

さらに、取り消したいときは…

取り消したい予約内容を選ぶ
数回押す
● 押すごとに、1つ下の予約内容が選ばれます。

2
■取り消すときは、

取消し

押す
● 予約が取り消されます。

録画日	CH	開始	終了	
26[土]	8	16:00	17:00	3倍
--[-]	--	--:--	--:--	標3
23[水]	4	20:00	21:00	3倍
--[-]	--	--:--	--:--	標3

● このあと**[確定]**を押すと、表示が消えます。
約1分そのままにしたときは、**[確定]**を押さなくても消えます。

修正する

1

修正したい予約内容を選ぶ
数回押す

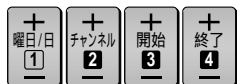
テレビ画面

録画日	CH	開始	終了	
26[土]	8	16:00	17:00	3倍
25[金]	6	19:00	20:00	標準
23[水]	4	20:00	21:00	3倍
--[-]	--	--:--	--:--	標3

● 押すごとに、1つ下の予約内容が選ばれます。

2

2秒以上押す

3

曜日/日 1　チャンネル 2　開始 3　終了 4　標準/3倍/5倍　CM

修正する

[1曜日/日]：毎日・毎週予約など(➜30)
[2チャンネル]：予約チャンネル(➜30)
[3開始]：開始時刻(➜30)
[4終了]：終了時刻(➜30)
[標準/3倍/5倍]：録画モードを変更(➜28,30)
[CM]：CMカット予約する・しない(➜28,30)

タイマー予約

録画日	CH	開始	終了	
25[金]	6	19:00	20:54	標準

4

押す

5

リモコンのふたを
閉じる

■ふたをひらいたところ

予約録画中の番組の終了時刻を延長する

準備
● **ビデオ/テレビスイッチ**を**[ビデオ]**にする。

1
予約録画中に、数回押す 本体表示窓

● 押すごとに延長される時間が変わります。
延長される時間の変わりかた
例：終了時刻を21時00分で予約したが、
ここから延長したい場合

21:15 (＋15分) → 21:30 (＋30分) → 21:45 (＋45分) → 22:00 (＋1時間) → 22:30 (＋1時間30分) → 23:00 (＋2時間) → 延長しない → 21:15

● 終了時刻を延長したために、別の番組予約が重なったときは、先に予約録画の始まった番組の予約が優先されます。
● 予約延長の操作中に現在時刻が終了時刻になっても、予約延長の操作をやめるまでは、そのまま録画を続けます。
● デジタル放送予約した番組は予約延長できません。

予約録画を解除する

予約録画の待機中に、カセットの入れ替えや再生などをしたいときは、予約録画を解除する必要があります。
また、始まった予約録画を途中でやめることができます。

準備
● **ビデオ/テレビスイッチ**を**[ビデオ]**にする。

予約録画の待機を一時解除する

1 タイマー切/入
押す 本体表示窓

● 本体表示窓の“ ◷ ”が消え、電源が入ったときの状態になります。
● もう一度押すと元の状態に戻ります。

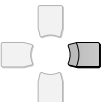
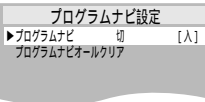
予約録画を途中でやめる

1 タイマー切/入
予約録画中に、押す 本体表示窓

● 録画をやめ、電源が入ったときの状態になります。

● 予約録画の待機状態にしておかないと、予約録画は実行されません。
● 予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度[**タイマー 切/入** ◷]を押すと予約録画が再開されます。
● 本体の[**タイマー予約 切/入**]でも、同じ操作ができます。

番組を探す

ナビデータを使って予約録画した番組を探す (プログラムナビ)

ナビデータ(予約録画情報)を使って予約録画した番組を簡単に探すことができます。

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜15,16)
- **ビデオ/テレビスイッチ**を[**ビデオ**]にする。

プログラムナビを「入」にして予約録画する

1

押す

メ ニ ュ ー
▶ モード 設 定
▶ C H 設 定
▶ 時 刻 設 定
▶ 電 力 モード
▶ プログラムナビ設定

2

[▲][▼]で「**プログラムナビ設定**」を選び、
[実行]を押す

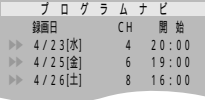
3

「**プログラムナビ**」が選ばれた状態で、「**入**」を選ぶ
押す

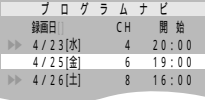
プログラムナビ設定
▶プログラムナビ 切 [入]
プログラムナビオールクリア

- 「切」にしていると、予約録画してもナビデータが登録されません。

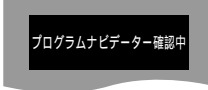
4

押す

5

予約録画する(➜28〜31)

- 自動的にナビデータが登録されます。

ナビデータについて

- プログラムナビを「入」にして予約録画すると、予約録画情報が自動的に登録されます。
- 登録できる数
  - ・カセットで20本分
  - ・全体の番組数で50番組
    (1本のカセットにつき最大14番組)
- 1本のカセットに15番組以上予約録画したときは、古い番組から削除されていきます。
- 予約操作の完了後に、登録可能な残りプログラム数が表示されます。
- 正しく頭出しをするためには、約15分(5倍モード時は約25分)以上の予約録画が必要です。

見たい番組を頭出しする

準備

- プログラムナビを「入」にする。(➜上記)
- プログラムナビ「入」で予約録画したカセットを入れる。

1

押す

- 予約録画した番組の一覧「録画日・CH(チャンネル)・録画開始時間」が表示されます。

2

プログラムナビ

頭出ししたい番組を選ぶ
数回押す

- 押すごとに、1つ上の番組が選ばれます。

プ ロ グ ラ ム ナ ビ
録画日 CH 開 始
4/23[水] 4 20:00
4/25[金] 6 19:00
4/26[土] 8 16:00

選んだあと、3秒以上たつと頭出し開始

番組が見つかると、自動的に再生

- カセットを入れると、自動的にナビデータを確認します。

本体表示窓

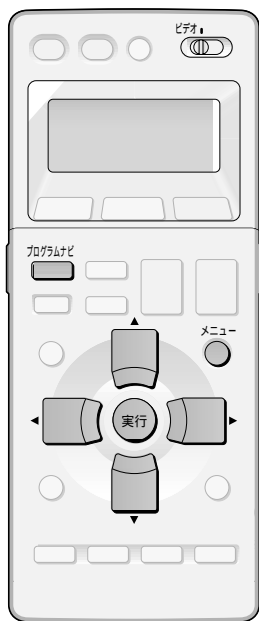
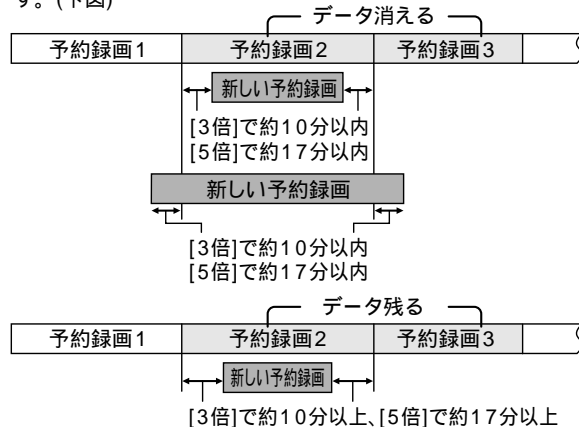
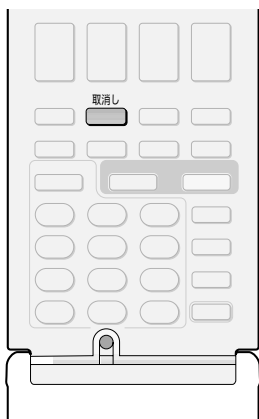
テレビ画面
プログラムナビデーター確認中

- ナビデータの確認中は、**[停止■]**などを押さないでください。
  確認中に**[停止■]**などを押して本機の動作を止めてしまうと、プログラムナビが正しく働かないことがあります。
- カセットを入れてもナビデータが確認できなかったときは、**[プログラムナビ]**を押すと、もう一度確認します。
- 未録画部分で**[プログラムナビ]**を押しても、ナビデータを確認できません。
  必ず本機で予約録画した番組の部分で、**[プログラムナビ]**を押してください。それでも確認できなかったときは、テレビ画面に“ プログラムナビデーターが確認されません ”と表示されます。このときは頭出しできません。
- 再生中に押したときは、再生をやめ、プログラムナビ画面を表示します。
- 頭出しが始まったあとや、自動的に再生が始まったあとでも、**[プログラムナビ]**を押して別の番組を選ぶことができます。

■頭出しを途中でやめる
[メニュー]を押す。
- プログラムナビ画面が消え、停止します。

正しくナビデータを登録するために

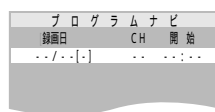
- テープの始端から、番組と番組の間をあけないよう予約録画してください。
- 以下のときはナビデータは登録されません。
  - ・通常の録画
  - ・終了時刻予約録画
  - ・デジタル放送予約録画
  - ・映像のない(音声のみの)予約録画
  - ・すでにカセット20本分、または50番組を登録しているとき
    新しい予約をすると、予約操作の完了後に、“ プログラムナビ、残り0カセット、データーを消してください ”または“ プログラムナビ、残り0プログラム、データーを消してください ”と表示されます。
- 以下の場合は正しく働かないことがあります。
  - ・メニュー「モード設定」(**➜42**)の「テープ長さ」を正しく合わせていないとき
  - ・本機以外のビデオで予約録画したカセットを使ったとき(当社製の同機能付きビデオも含む)

・ナビデータのある予約録画番組のところに新しく予約録画したとき
録画した時間によっては、以前のナビデータが削除されます。(下図)

カセット単位でナビデータを消去する

消去したナビデータは、元に戻すことができません。
消去してよいかよく確かめてから行ってください。

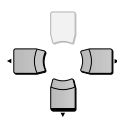
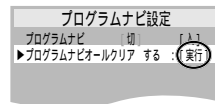
1

プログラムナビ画面の表示中に、
約5秒以上押す

テレビ画面

- ナビデータを1番組ずつ消去することはできません。

すべてのカセットのナビデータを消去する

左ページ“ プログラムナビを「入」にして予約録画する ”手順2のあと、

1

[▼]で「プログラムナビオールクリア」を選び、「実行」を表示させる
[◀]または[▶]を押す

2

押す

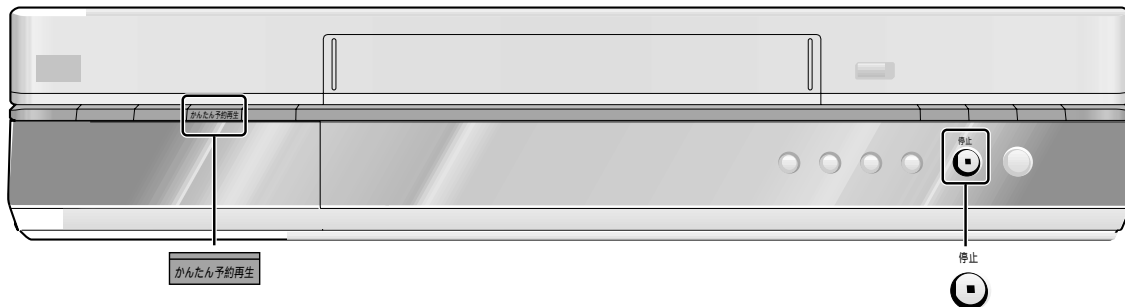
- すべてのカセットのナビデータが消去されます。

■メニュー画面を消す
[メニュー]を押す。

■ふたをひらいたところ

- この操作を行っても本体内部のナビデータが消えるだけで、カセットにはナビデータが残ったままになります。
  このため、本体内部のナビデータを消去したカセットを入れて**[プログラムナビ]**を押しても、正しく表示されません。
- カセットに記録されているナビデータも消去したいときは、テープリフレッシュされることをおすすめします。(**➜38**)
  ただし、テープリフレッシュを行うと、録画した番組などもすべて消去されます。

番組を探す(つづき)

予約録画した番組をすぐに見る (かんたん予約再生)

直前に予約録画した番組をワンタッチ操作ですぐに見ることができます。

準備

- 見たい番組を予約録画する。(➜28,30)
- テレビに本機の画面を出す。(➜15,16)
- **ビデオ/テレビスイッチ**を[**ビデオ**]にする。

1

押す

かんたん予約再生 ◀◀◀◀

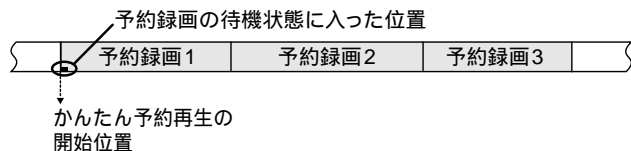
- 予約録画した番組の先頭まで自動的に巻き戻したあと再生を始めます。

■途中でやめる

[**停止■**]を押す。

- 予約録画の待機状態に入った時点の場所を再生位置として記憶します。
  - ・複数の番組を連続して予約録画した場合は、一番最初に予約録画された番組の先頭まで巻き戻しされます。(下図)

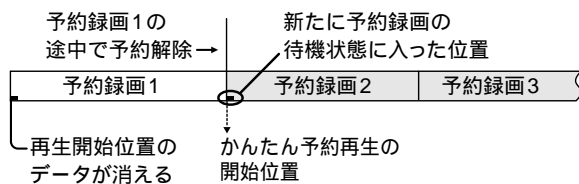
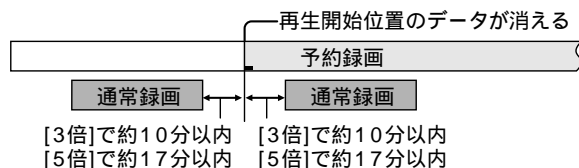
予約録画の待機状態に入った位置

予約録画1	予約録画2	予約録画3

かんたん予約再生の開始位置

  - ・途中で**いったん予約を解除したとき(➜33)は、再生開始位置は次の予約録画番組の先頭に移動**します。(下図)
  予約録画の途中で[**タイマー 切/入**]を押さないでください。

予約録画1の途中で予約解除→　新たに予約録画の待機状態に入った位置

予約録画1	予約録画2	予約録画3

再生開始位置のデータが消える　かんたん予約再生の開始位置

- 次のようなときは正しく働かないことがあります。
  - ・短い時間の予約録画
  予約録画は約15分(5倍モードは約25分)以上行ってください。
  - ・かんたん予約再生する番組のところに新しく通常録画したとき
  録画した時間によっては、再生開始位置のデータが削除されます。(下図)

- 次のようなときは働きません。
  - ・予約録画の待機中のとき
  - ・通常の録画をしたとき(➜24)
  - ・終了時刻だけを予約して録画したとき(➜27)

直前に予約録画したカセットを一度でも取り出すと、その番組のかんたん予約再生はできません。

このときは、通常の再生を行ってください。

- かんたん予約再生できる番組がない場合は、テレビ画面に“ かんたん予約再生のデータが確認されません ”と表示されます。

頭出しで番組を探す

本機で録画すると、録画の開始点で自動的に頭出し信号が記録されます。これを使って録画を始めたところを頭出しすることができます。

準備

- テレビに本機の画面を出す。**(➜15,16)**
- **ビデオ/テレビスイッチ**を**[ビデオ]**にする。

1番組単位で頭出しする

1

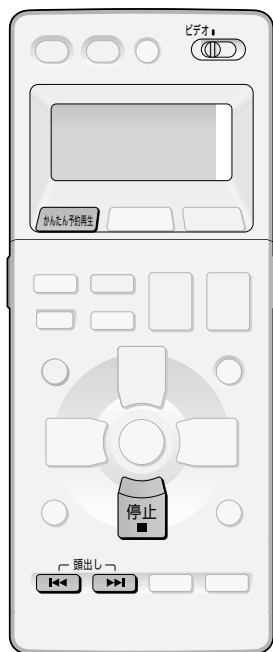
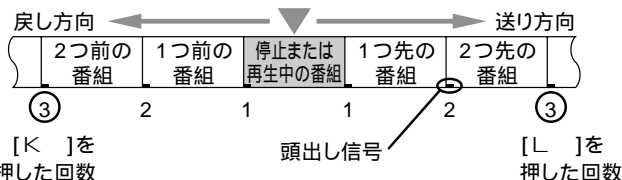
数回押す

早送り方向…[L]
巻戻し方向…[K]

- 早送り(巻き戻し)を始め、番組を探します。
- 番組を見つけると、自動的に再生を始めます。

テレビ画面

頭出し02▶▶ CH 1
0:12.34 標準

再生▶

頭出しする番組の指定のしかた

- 最大20番組先(前)までの番組が指定できます。
- ボタンを押しすぎたときは、反対方向のボタンを押してください。
- 以下のときに、頭出し信号が記録されます。
  - **[録画●]**、**[●録画/終了時刻予約]**を押して録画を始めたとき。
    (録画の一時停止を解除して録画を再開したときは記録されません)
  - 予約録画、デジタル放送予約録画が始まったとき。
  - 録画中に、リモコンの**[録画●]**を押したとき。
- 次のときは、正しく探せないことがあります。
  - 頭出し信号どうしの間隔が短いとき
    録画は約15分(5倍モード時は約25分)以上行ってください。

テープリフレッシュする

カセットの録画内容をすべて消す (テープリフレッシュ)

この操作をすると映像、音声、ナビデータはすべて消え、元に戻すことができません。
消してよいかよく確かめてから行ってください。
※テープが新しくなるわけではありません。

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜15,16)
- **ビデオ/テレビスイッチ**を[**ビデオ**]にする。
- テープリフレッシュしたいカセットを入れる。

1 **押す**

2

[▲][▼]で「プログラムナビ設定」を選び、
[実行]を押す

3 ■本機でプログラムナビ「入」で予約録画したカセットのとき

「プログラムナビ」を「入」にする
押す

■本機以外で予約録画したカセットのとき
(当社製プログラムナビ機能付ビデオも含む)

「プログラムナビ」を「切」にする
押す

4 **押す**

5
【本体】

5秒以上押す

6

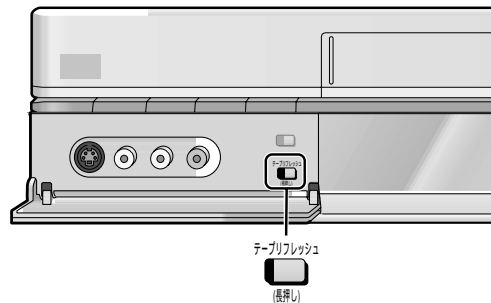
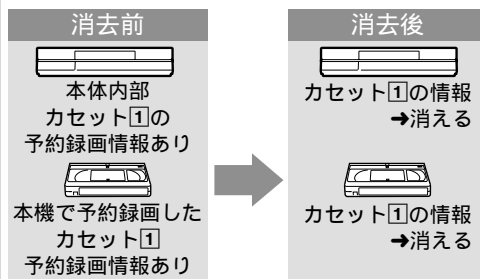
本体表示窓の"TR"点滅中に、もう一度
2秒以上押す

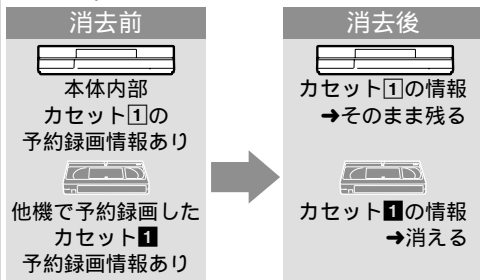
- テープリフレッシュが始まります。(➜下記)
- テープ残量の数値が減っていきます。

■途中でやめる
[**停止■**]を押す。
- 止めたところまでは消去されています。

テープリフレッシュの動作
1. テープを始端まで巻き戻す。
2. 早送りしながら、録画された内容を消去していく。
3. 終端まで消去すると、始端まで巻き戻して停止する。

テープの始端　現在のテープ位置
巻き戻し　**早送りしながら消去する**

- 120分カセットで約21分かかります。(目安です)
- 誤消去防止用の「つめ」を折り取っているカセット、または誤消去防止つまみが「OFF」になっているカセットはテープリフレッシュできません。

本機でプログラムナビ「入」で予約録画したカセットのとき
- 必ず手順3で「プログラムナビ」を「入」にしてください。

- 「切」にして消去すると、本体内部は消去したカセットの情報が残ったままになってしまいます。

本機以外で予約録画したカセットのとき
(当社製プログラムナビ機能付ビデオも含む)
- 必ず手順3で「プログラムナビ」を「切」にしてください。

- 「入」にして消去すると、本体内部は、本機で録画したカセット番号(例では1)の情報も消えてしまいます。
- メニュー「モード設定」(➜42)の「テープ長さ」を正しく合わせておかないと、テープ残量が正しく表示されません。
- テープリフレッシュしたあとに再生動作をしたとき、テープカウンターの数字が動くことがありますが、そのまま新しく番組などを録画しても影響ありません。

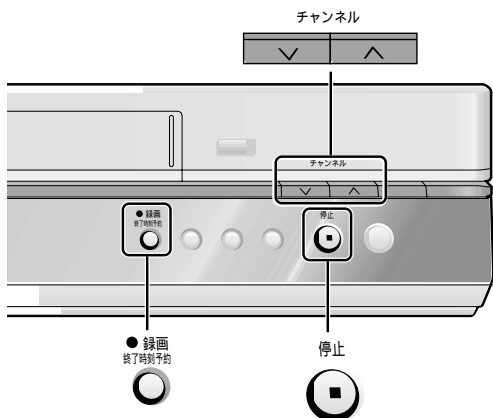
きれいに再生できないとき

再生画面にノイズが出るとき

次の3つの要素が考えられます。

①トラッキングがずれている
(白い帯状のノイズが出るときなど)
トラッキングを調整してください。

②ビデオヘッドが汚れている
(画面全体にノイズが出るときなど)
ビデオヘッドクリーナー(別売)で、ビデオヘッドをクリーニングしてください。

③テープがいたんでいる
ビデオヘッドが汚れるだけでなく、故障の原因となるおそれがあります。
テープがいたんでいるカセットは使わないでください。

● **ビデオ/テレビスイッチ**を[**ビデオ**]にする。

①トラッキングを調整する

通常は自動調整されていますので、操作の必要はありませんが、別のビデオで録画されたカセットを再生するとずれやすくなります。

1 再生中に、
どちらかを押し続ける
● ノイズが消えるまで押し続けてください。
● [ﾌ][ﾍ]同時に押すと、自動調整に戻ります。

● 調整しすぎると、ハイファイ音声がノーマル音声に変わることがあります。
● テープによっては、調整しきれないことがあります。
● 静止画、スロー再生中のノイズを消したいときは、一度スロー再生にして、その状態でトラッキング調整を行ってください。
● 本体の**チャンネル**[ﾍ][ﾌ]でも調整できます。

②ビデオヘッドをクリーニングする

再生中、本体表示窓に“ U11 ”が表示されたときは、ビデオヘッドの汚れが考えられます。またこのとき、テレビ画面には右図のような表示が出ます。

ヘッドをクリーニングしてください

1 乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)(➔58)を入れ、
約10秒間録画する
● 約10秒後に[**停止■**]を押してください。
● このあと、録画済みのカセットを入れて再生してみてください。

● まだノイズが出るときは、もう一度行ってみてください。
● 3回繰り返し行っても効果がないときは、販売店にご相談ください。

静止画面が上下にゆれるとき

静止画面の上下のゆれは、垂直同期を調整すると止まることがあります。

1 静止画再生中に、
どちらかを押し続ける
● ゆれが止まるまで押し続けてください。
● [ﾌ][ﾍ]同時に押すと、元の状態に戻ります。

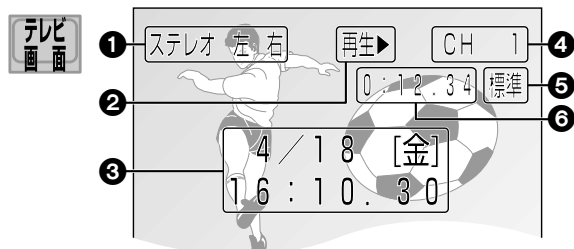
● お使いになるテレビによっては、調整しきれないことがあります。
● 本体の**チャンネル**[ﾍ][ﾌ]でも調整できます。
● テレビの垂直同期も調整してみてください。
(テレビの説明書をご覧になるか、お買い上げの販売店にご相談ください)

便利機能

画面表示・音声切換

画面表示について (オンスクリーン)

画面表示の一例

操作したときに、テレビ画面に操作内容や本機の動作状態などを約5秒間表示します。

● 次のようなときは、オンスクリーン表示は出ません。
・静止画、スロー再生中
・メニュー「モード設定」(➜42)の「オンスクリーン」を「切」にしているとき
● テレビによっては、オンスクリーン表示が横ゆれしたり、乱れたりすることがあります。
また、本機の動作が切り換わるときにも乱れることがあります。

❶ 音声/自動CM早送り/レンタルモード
- ステレオ(二重)放送受信時、“ステレオ(二重)。” **(➜右ページ)**
- **[音声切換]**で音声選択時、“左 右”、“左”、“右。” **(➜右ページ)**
- **[CM]**を押すごとに、“自動CM早送り 入(または切)。” **(➜22)**
- **[レンタルモード]**を押すごとに、“スタンダード”、“ダイナミック”、“ソフト。” **(➜23)**

❷ 動作表示
- 再生、早送りなど、本機の動作状態。

❸ 日付/現在時刻表示(➜下記)

❹ チャンネル表示
- チャンネル切換時、録画開始時。

❺ 録画モード表示
- 録画開始時、テープ残量表示時などに、“標準”、“3倍”、“5倍。”

❻ テープカウンター/テープ残量表示(➜下記)

時刻、テープカウンター、テープ残量を確かめる

合わせて本体表示窓の表示も変わります。

準備

- テレビに本機の画面を出す。**(➜15,16)**
- **ビデオ/テレビスイッチ**を**[ビデオ]**にする。

1

数回押す
- 5秒以内に押すごとに、

日付/現在時刻表示

テープカウンター表示

テープ残量表示

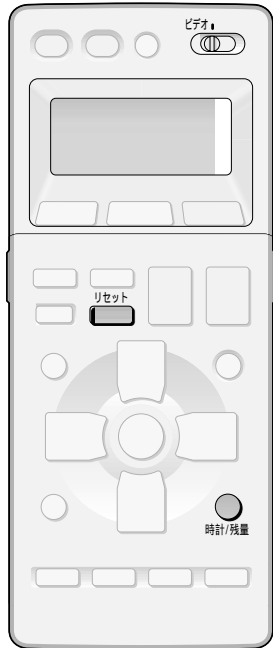
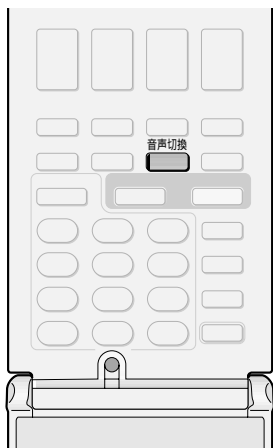
- ボタンを押して5秒以上たつと自動的に消えます。

● 自動時刻合わせ機能**(➜44)**が働いているときは、秒まで表示されます。
● テープカウンター表示になっているときに**[リセット]**を押すと、値が“0:00.00”になります。
● メニュー「モード設定」→「オンスクリーン」を「切」にしているときは、テレビ画面には表示されません。**(➜42)**

テープ残量表示について
● 表示は目安です。
● 残量の計算がされていないとき(カセットを入れた直後など)は表示されません。テープ残量表示にするとすぐに計算を始めますが、表示されるまでに多少時間がかかることがあります。
● 次のときは、正しい表示になりません。
・メニュー「モード設定」(➜42)の「テープ長さ」を正しく合わせていないとき
・品質の悪いカセットを使ったとき

ステレオ音声、主音声・副音声を切り換える

テレビ番組の受信、または再生中の音声を切り換えることができます。

- テレビに本機の画面を出す。(**➜15,16**)
- **ビデオ/テレビスイッチ**を[**ビデオ**]にする。

■ふたをひらいたところ

1

聞きたい音声を選ぶ

数回押す

- 押すごとに、下表のように変わります。

■テレビ放送受信中

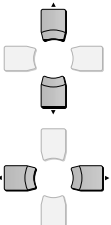
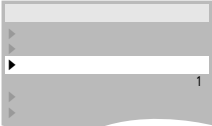
	テレビ画面表示	選ばれた音声
ステレオ放送	ステレオ　左　右	ステレオ音声
	ステレオ　左	左音声
	ステレオ　　右	右音声
二重放送 (2カ国語放送など)	二　重　左　右	主音声+副音声
	二　重　左	主音声
	二　重　　右	副音声
モノラル放送 (外部入力チャンネルも含む)	音　声　左　右	左音声+右音声
	音　声　左	左音声
	音　声　　右	右音声

■録画したテレビ番組の再生中

	テレビ画面表示	選ばれた音声
ステレオの番組	音　声　左　右	ステレオ音声
	音　声　左	左音声
	音　声　　右	右音声
	音　声	ノーマル音声(左+右)
二重音声の番組 (2カ国語など)	音　声　左　右	主音声+副音声
	音　声　左	主音声
	音　声　　右	副音声
	音　声	ノーマル音声(主音声)
モノラルの番組	音　声　左　右	左音声+右音声
	音　声　左	左音声
	音　声　　右	右音声
	音　声	ノーマル音声(モノラル)

- 電源を切るまで、選ばれた音声のままになります。
- □の欄が2カ国語オート再生機能(**➜下記**)で自動的に選ばれる音声です。
- 選んだ音声だけを録音することはできません。
- 録画中に音声を切り換えても、録音される音声には影響はありません。
- テレビと映像・音声コードで接続していないときは、聞こえる音声は常にモノラルになります。
- ノーマル音声しか記録されていないカセットの再生中は、音声を選ぶことができません。

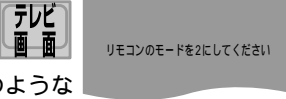
■2カ国語オート再生機能について

- ステレオ放送のときは「ステレオ音声」が、二重放送のときは「主音声」が自動的に選ばれます。
- 次のようなときは、2カ国語オート再生機能は働きません。
  - ・本機または当社の同機能付きビデオで録画していない番組を再生中
  - ・外部入力録画(BSデジタル/CSデジタル放送を含む)をした番組を再生中
  - ・[**音声切換**]を押して、音声を選んだあと(選んだ音声を本機が記憶しているためです。一度電源を切ると、この機能は働くようになります)
  - ・番組の途中から再生を始めたとき
この機能が、記録されている音声の切り換わりなどをもとに働いているためです。このときは[**音声切換**]で音声を選んでください。

便利機能

設定を変える

いろいろな項目の設定を変える (モード設定)

使う条件に合わせて、いろいろな項目を変えることができます。

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜15,16)
- **ビデオ/テレビスイッチ**を[**ビデオ**]にする。

1

押す

2

「モード設定」が選ばれている状態で、
押す

3

設定したい項目を選ぶ
[▲][▼]を押す

設定を変える
[◀][▶]を押す

4

押す

複数の当社製ビデオを使うとき(リモコンモード)

複数の当社製ビデオを同じ場所でお使いの方は、機種別にリモコンモードを変えておくと別々に操作できます。

- 当社製ビデオのほとんどが共通したリモコン方式のため、再生などの操作をすると、本機以外の別のビデオにも影響してしまいます。
  このときは、リモコンモードを変えてください。
- 通常は工場出荷時のまま「リモコンモード1」でお使いください。
  (当社製ビデオが本機しかないときなど)
- この設定は当社製ビデオが複数台あるときのみ働きます。

■本体のモードを変える

1 上記手順3で、リモコンモード
「1」、「2」、「3」のいずれかを選ぶ

2

押す

リモコンのモードを2にしてください

- テレビ画面に右図のような表示が出ます。

■リモコンのモードを変える

3

約2秒以上押し続ける

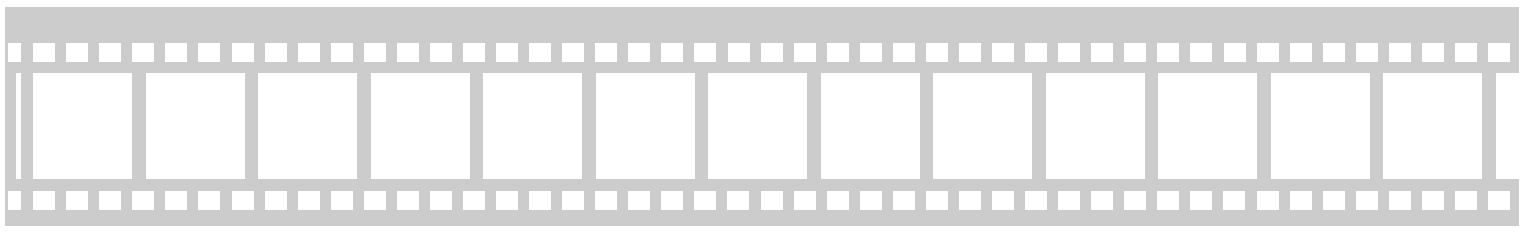
- 手順2でテレビ画面に表示されたモードと同じ番号に変えてください。
- 押すごとに、“ 1 ”→“ 2 ”→“ 3 ”と変わります。

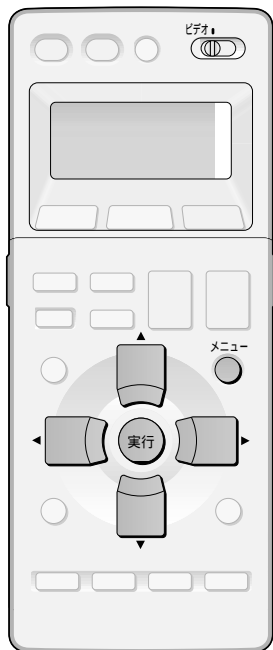
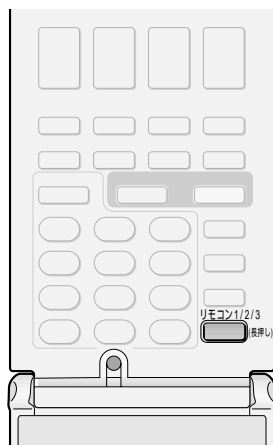
---

4 リモコンの
ふたを閉じる

操作できずに、本体表示窓に下図のような表示が出るとき

本体のリモコンモード番号(例は「1」)

- 本体とリモコンのリモコンモードが合っていないので、操作できません。リモコン側のモードを本体に合わせてください。
- 複数の当社製ビデオを同じ場所でお使いのとき、本機を操作すると別のビデオに上図のような表示が出ることがあります。このとき別のビデオが録画中や予約録画の待機状態などになっていても影響はありません。この表示は約3秒間表示され、そのあと元の状態に戻ります。

■ふたをひらいたところ

各項目について

テープ長さ

▶－120(工場出荷時)
T120(120分)、TC20(VHS-C・20分)カセットや、それより短いものを使うとき。

▶－160
T140(140分)、T160(160分)、TC30(VHS-C・30分)カセットを使うとき。

▶180
T180(180分)カセットや、それより長いものを使うとき。

※　；　カセットのときは、どの位置に設定してもテープ残量が正しく表示されません。

オンスクリーン

▶切
テレビ画面に表示を出さないようにするとき。

▶自動(工場出荷時)
操作をしたときなどに、約5秒間だけテレビ画面に表示を出すとき。

リモコンモード(詳しくは➜左ページ)

▶1(工場出荷時)
通常はこの位置。

▶2
複数の当社製ビデオを同じ場所で使うとき。

▶3
複数の当社製ビデオを同じ場所で使うとき。

ワイドモード

▶切
テレビのS映像入力端子に接続したとき。

▶S1(工場出荷時)
テレビのS1映像端子入力端子に接続したとき。
ワイドモードの映像をテレビに送ると、テレビの画面が自動的にフルモードに切り換えられます。

S-VHS録画

▶切
S-VHSカセットにVHS方式で録画するとき。

▶入(工場出荷時)
S-VHSカセットにS-VHS方式で録画するとき。
(通常はこの位置)

S-VHS ET録画

▶切(工場出荷時)
VHSカセットにS-VHSの画質で録画しないとき。

▶入
VHSカセットにS-VHSの画質で録画するとき。

時刻を合わせ直す (時刻設定)

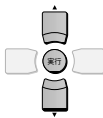
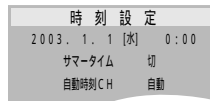
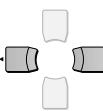
時刻が合っていないときは、合わせ直してください。

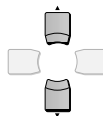
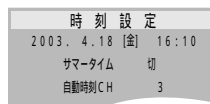
- テレビに本機の画面を出す。(➜15,16)
- **ビデオ/テレビスイッチ**を**[ビデオ]**にする。

1

押す

2

[▲][▼]で
「時刻設定」を選び、
[実行]を押す

時 刻 設 定
2003. 1. 1 [水] 0:00
サマータイム 切
自動時刻CH 自動

3

設定したい項目を選ぶ
[◀][▶]を押す
[▶]を押すごとに、
→時刻
→サマータイム
→自動時刻CH
→年
→月
→日…と変わります。

時 刻 設 定
2003. 4.18 [金] 16:10
サマータイム 切
自動時刻CH 3

合っていないところで、修正する
[▲][▼]を押す

「時刻」について
- 24時間表示です。
- 押し続けると30分単位で変わります。

「サマータイム」について
- 「入」にすると時刻を1時間すすめます。
  「切」にすると元に戻ります。
  将来、サマータイムが実施されたときにお使いいただけます。現在は「切」にしておいてください。(2003年3月現在)

「自動時刻CH」について
- NHK教育テレビに合わせておくことをおすすめします。
  表示チャンネルで合わせてください。

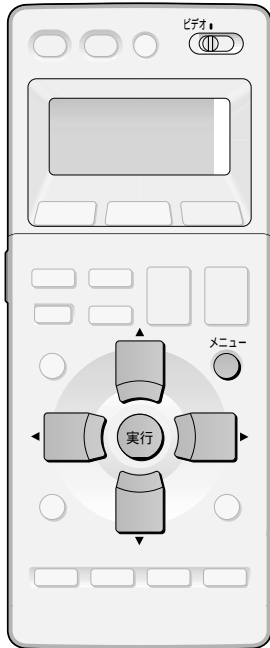
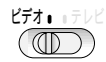
「年」について
- 西暦1988～2087年までです。

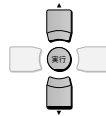
■時刻設定画面を消す
[メニュー]を押す。

自動時刻合わせ機能について
- 「自動時刻CH」をNHK教育テレビに合わせておくと、本機が毎日7、12、19時に時報が放送されるかどうかを確認します。
  そのときに時報が放送されると、それに合わせて誤差を自動修正します。
  (2分以内の誤差が修正されます)
- 「自動時刻CH」を「自動」にすると、本機が自動的にNHK教育テレビを探し出します。
  地域により、探し出すまでに数週間かかることもありますので、あらかじめご自分でNHK教育テレビに合わせておくことをおすすめします。
- 自動時刻合わせ機能は、NHK教育テレビの時報を利用しています。正規の時報以外に番組の中で時報が放送されると、“ 時報 ”と誤って検出し、正しい時刻に設定されません。時刻表示の誤差が2分以上あるときは、時刻設定で正しい時刻に合わせ直してください。
- 次のようなときは働きません。
  ・「自動時刻CH」を「ーー」にしているとき。
  　(自動時刻合わせ機能が働いていない状態)
  ・時報が放送される時刻に電源が入っているとき。
  ・時報のバックに音楽が流れているとき。
  ・「ポッポッポッポーン」の「ポーン」のみの時報のとき。
- 電源コードを抜いたあとや停電したあとなどは、自動時刻合わせ機能が働いていない状態になります。

不要な電力消費をおさえる (電力モード設定)

不要な電力の消費をおさえることができます。

準備

- テレビに本機の画面を出す。**(➔15,16)**
- **ビデオ/テレビスイッチ**を**[ビデオ]**にする。

1 メニュー **押す**

2 [▲][▼]で「電力モード」を選び、 **[実行]を押す**

電　力　モード			
▶時刻表示	切	[入1]	入2
自動電源　切	切	2H	[6H]

3 設定したい項目を選ぶ **[▲][▼]を押す**

電　力　モード			
時刻表示	切	[入1]	入2
▶自動電源　切	[切]	2H	6H

設定を変える **[◀][▶]を押す**

■電力モード画面を消す
[メニュー]を押す。

各項目について

時刻表示

▶切
電源「切」時に本体表示窓の表示をすべて消すとき。
- 電源「切」時の消費電力を約0.3ワットにすることができます。
- 何も表示されていないときでも、**[時計/残量]**で時刻表示を確かめたり、予約録画の待機中は**[確認]**で予約内容を確かめたりすることはできます。

▶入1(工場出荷時)
電源「切」時に、本体表示窓に現在時刻を暗く表示するとき。

▶入2
電源「切」時に、本体表示窓に現在時刻を明るく表示するとき。

自動電源　切

▶切
「自動電源 切」機能を働かせないとき。

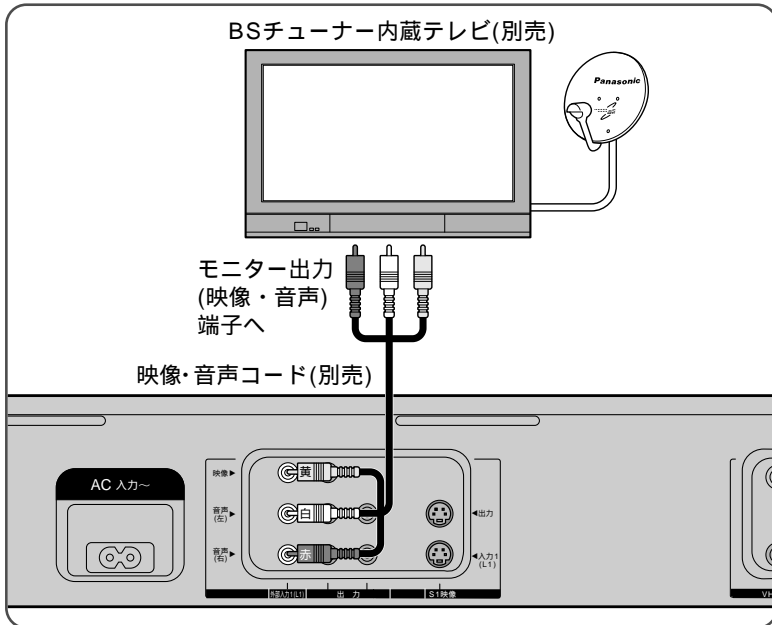
▶2H
約2時間以上何も操作をしなかったときに、自動的に電源を切るとき。

▶6H(工場出荷時)
約6時間以上何も操作をしなかったときに、自動的に電源を切るとき。

外部入力を録画する

BSチューナー内蔵テレビからBS番組を録画する

※本機はBSチューナーを搭載しておりません。

■ふたをひらいたところ

準備

- **ビデオ/テレビスイッチ**を**[テレビ]**にする。
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜20)
- テレビの電源を入れる。

1 約10秒以内に **BSチャンネルを選ぶ** **押す**

2 **[ビデオ]にする**

3

テレビのモニター出力を接続した外部入力チャンネルを選ぶ
押す

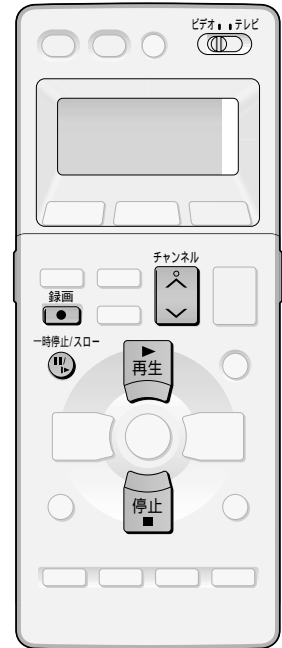
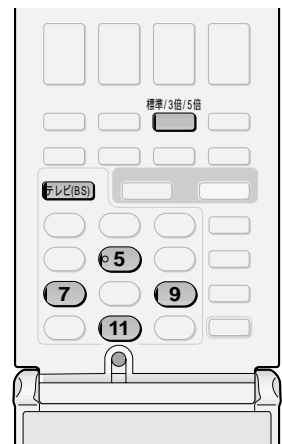
L1：外部入力1端子(後面)に接続したとき
L2：外部入力2端子(前面)に接続したとき

4 **録画モードを選ぶ**
数回押す

5

押す

■**録画をやめる**
[停止■]を押す。

- テレビにBSチューナーがないときや、モニター出力端子がないときはできません。
- BS録画中は、テレビの電源を切ったり、テレビのチャンネルを切り換えたりしないでください。
- テレビに「BS固定」モードがあるときは、設定されることをおすすめします。

他のビデオなどから録画する

BS番組をGコード予約して録画するとき
- 本機にはBS放送を受信するためのチューナーはありませんが、付属のリモコンではBS番組をGコード予約することができます。
- BS番組をGコード予約すると、自動的に外部入力チャンネル“ L1 ”が選ばれます。
- このため、テレビのモニター出力(映像・音声)からの映像・音声コードは、必ず後面の外部入力1(L1)端子に接続してください。
(フリーセット予約をするときは、前面の外部入力2(L2)端子に接続してもかまいません)

予約録画が始まる前、予約録画中は
- テレビのチューナーを使って録画しますので、必ず予約録画が始まるまでにテレビの電源を入れ、録画したいBSチャンネルに合わせておいてください。(予約録画が終わるまで、テレビの電源を入れたままにしておいてください)
- 予約録画中は、テレビの電源を切ったり、テレビのチャンネルを切り換えたりしないでください。

WOWOWなど、スクランブル放送を録画するとき
- 必ずBSデコーダーの電源を入れ、音声もBSデコーダーで選んでください。
(BSデコーダーの説明書もお読みください)

録画状態を確認しようとすると、ノイズ画面になるとき
- 発振によるノイズが出ることがあります。
(テレビの説明書もお読みください)

- 外部機器の音声出力端子がモノラルのときは、ステレオ⟷モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。

映像が乱れたり、色合いが悪くなったりするとき
- 市販されているビデオソフト(レンタルビデオも含む)やBSデジタル/CSデジタル放送などには、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されているものがあります。
コピー禁止処理されている信号を本機に入力しても、正しく録画できません。また、本機を経由してテレビで見ようとしても、映像が乱れたり、明るさが急に変わったり、色合いが悪くなったりします。

本機を再生機として使うとき
- モード設定(➔42)の「オンスクリーン」を「切」にすると、画面に不要な文字や表示を出さなくなります。

テレビの近くで操作するとき
- 再生機をテレビに近付けると、黒い帯状のノイズが録画されてしまうことがあります。このときはできるだけ離してください。

例では、前面の外部入力2(L2)端子に接続していますが、後面の外部入力1(L1)端子に接続することもできます。

準備

ビデオ テレビ

- **ビデオ/テレビスイッチ**を[**ビデオ**]にする。
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➔20)

1

チャンネル

外部機器を接続した外部入力チャンネルを選ぶ

本体表示窓

押す

L1：外部入力1端子(後面)に接続したとき
L2：外部入力2端子(前面)に接続したとき

2

録画の開始点を探す

押す

一時停止/スロー

録画の開始点で、静止画にする

押す

録画

録画の一時停止にする

押す

3

標準/3倍/5倍

録画モードを選ぶ

数回押す

- “ 標準 ”、“ 3倍 ”、“ 5倍 ”から選びます。

4

再生機で、

再生を始める

5

一時停止/スロー

録画を始めたい場面で、

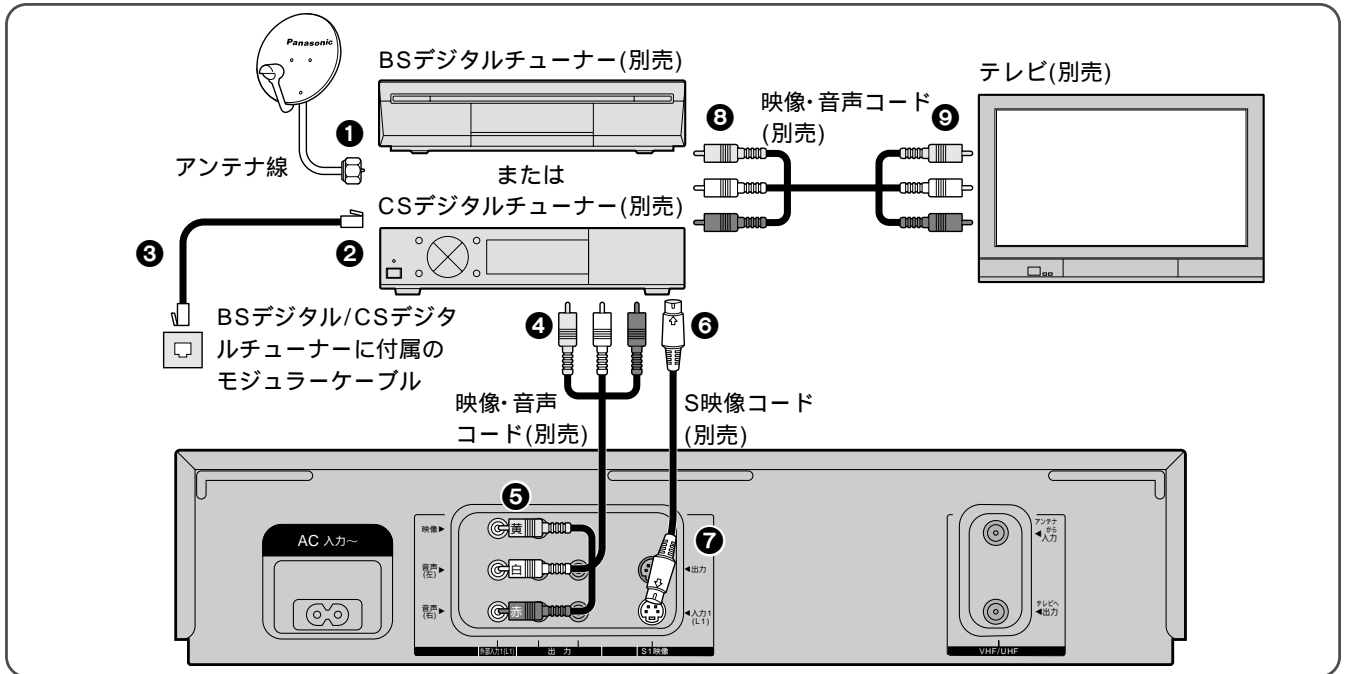
押す

■録画をやめる
[**停止■**]を押す。
- 再生機も停止させてください。

外部入力・編集

BS/CSデジタル放送の予約録画

BS(またはCS)デジタルチューナー(内蔵テレビ)と接続する

BS(またはCS)デジタルチューナーと接続するとき

準備 ● 各機器の電源を切っておく。(接続は乾いた手で行ってください)

まず、VHF/UHFアンテナ接続(➜12)のあと、

1 アンテナ線を接続する
(BS(またはCS)アンテナ入力端子❶)

● BS/CSアンテナの設置などについては、販売店にご相談ください。

2 モジュラーケーブルを接続する
(回線端子❷～ご家庭のモジュラーコンセント❸)

回線端子がないアナログ方式(従来)のCSチューナーを接続するときは、❷～❸は不要です。

3 映像・音声コード(別売)を接続する
(映像·音声出力端子❹～外部入力1(L1)端子❺)

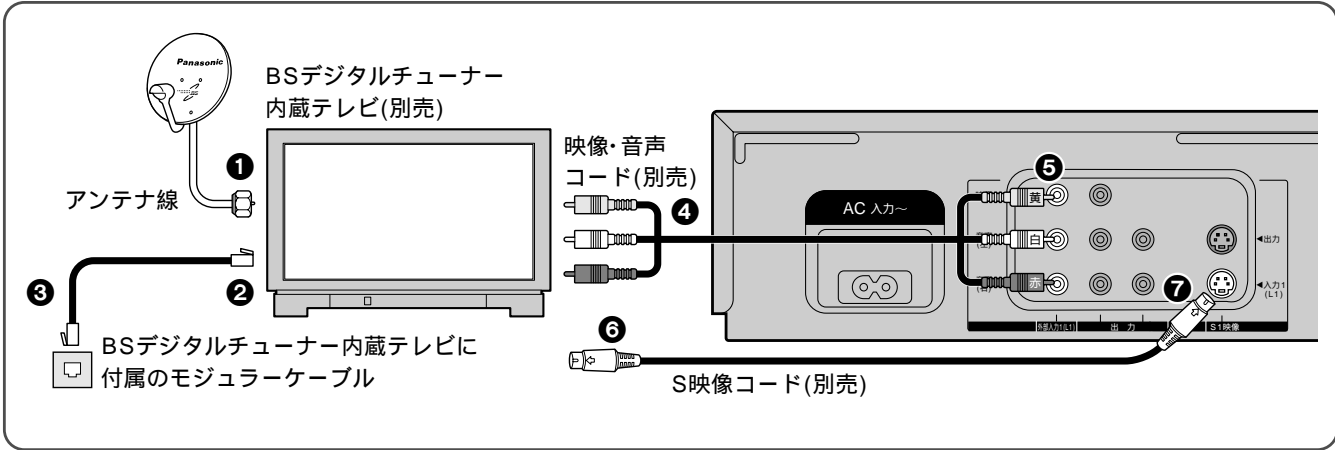
● デジタル放送予約録画(➜50)を行うため、BS/CSデジタルチューナーからの映像・音声コード、S映像コードは、必ず後面の外部入力1(L1)端子に接続してください。

4 S映像コード(別売)を接続する
(S映像出力端子❻～S1映像入力1(L1)端子❼)

5 映像・音声コード(別売)を接続する
(映像·音声出力端子❽～ビデオ入力端子❾)

■BSデジタル放送をご覧になるにはBSデジタルチューナー(別売)が、CSデジタル放送をご覧になるにはCSデジタルチューナー(別売)が必要です。
● また、有料の場合はそれぞれのBSデジタル/CSデジタル放送会社との受信契約が必要です。(詳しくは、BSデジタル/CSデジタル放送会社にご相談ください)
● チューナーの説明書もお読みください。

■コピーガードのかかっている番組を見るとき
● 本機を経由して見ようとすると、映像がきれいに映らないことがあります。このときは、チューナーから直接テレビに映像・音声コードを接続し、テレビ側でチューナーを接続した入力に切り換えてご覧ください。

BSデジタルチューナー内蔵テレビと接続するとき

準備 ● 各機器の電源を切っておく。(接続は乾いた手で行ってください)

まず、VHF/UHFアンテナ接続(➜12)のあと、

1 アンテナ線を接続する

(BSアンテナ入力端子❶)

● BSアンテナの設置などについては、販売店にご相談ください。

2 モジュラーケーブルを 接続する

(回線端子❷～ご家庭のモジュラーコンセント❸)

3 映像・音声コード(別売)を 接続する

(モニター出力(映像·音声)端子❹～外部入力1(L1)端子❺)

● デジタル放送予約録画(**➜50**)を行うため、BSデジタルチューナー内蔵テレビからの映像・音声コード、S映像コードは、必ず後面の外部入力1(L1)端子に接続してください。

4 S映像コード(別売)を 接続する

(モニター出力(S映像)端子❻～S1映像入力1(L1)端子❼)

■BSデジタル放送をご覧になるには、BSデジタルチューナー内蔵テレビ(別売)が必要です。
● また、有料の場合はそれぞれのBSデジタル放送会社との受信契約が必要です。(詳しくは、BSデジタル放送会社にご相談ください)
● テレビの説明書もお読みください。

BS(またはCS)デジタル放送を予約録画する(デジタル放送予約録画)

本機とBSデジタルチューナー(内蔵テレビ)またはCSデジタルチューナーを接続(➜48,49)しておくと、24時間以内に始まるBSデジタル/CSデジタル放送の番組を1番組だけ予約録画することができます。
※本機はBSデジタル/CSデジタルチューナーを搭載しておりません。

準備
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜20)
- 録画モード([標準]、[3倍]または[5倍])を選ぶ。

1 チューナー(内蔵テレビ)側で、
予約録画のために必要な設定をする
- 詳しくは、チューナー(内蔵テレビ)の説明書をお読みください。

2

番組の開始時刻を合わせる
数回押す
- 押し続けると、30分単位で変わります。
- 自動的に外部入力チャンネル“ L1 ”が選ばれます。

3

押す
- 予約録画の待機状態になります。
- “ D ”は「デジタル」の意味です。

デジタル放送予約録画を解除する

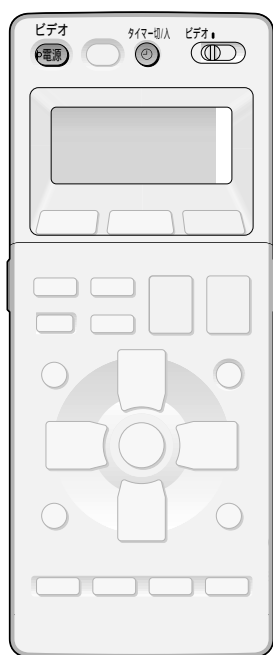
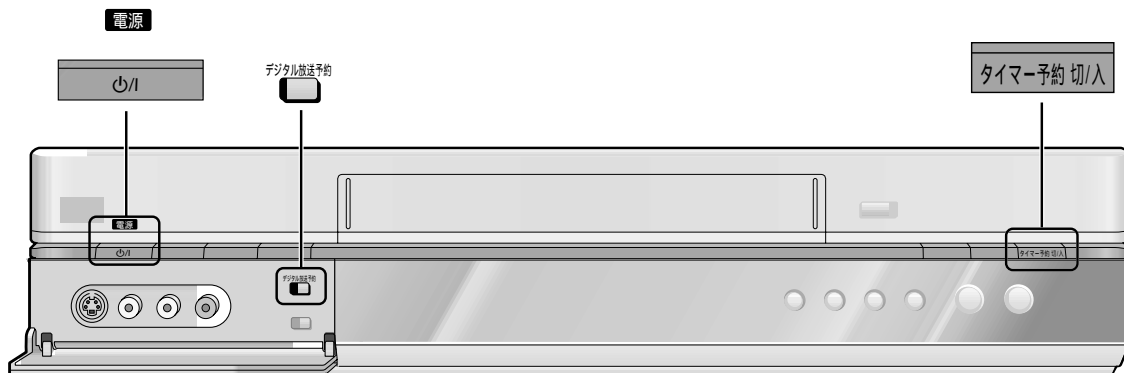
1

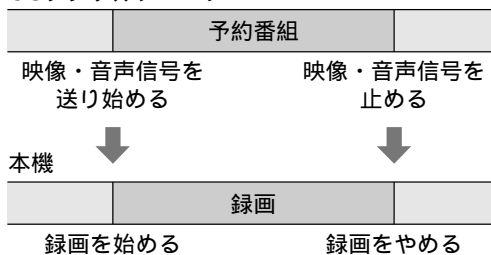
押す
- 本体表示窓の“ D ◴ ”表示を“ D ”のみにします。

2

電源を切る
押す

- 録画開始時刻になると、自動的にBSデジタル/CSデジタル放送の番組の録画が始まります。
- デジタル放送予約録画は、手順2まででもかまいません。ただし、このときは電源を入れたままにしておいてください。
  録画開始時刻の約5分前になると、本体表示窓のチャンネル表示(L1)と“ D ”が点滅を始めます。
  録画開始時刻になるまでは、録画や再生などの操作ができます。
- この予約以外に、別の予約をしているとき(Gコード予約やフリーセット予約)は、手順3まで行ってください。

有料番組などを録画するとき
- 必ずチューナー側で録画のための設定を行ってください。
  (録画できない番組や、録画するために追加料金が必要な番組などもあります)

デジタル放送予約録画のしくみ

- 予約開始時刻になると、BS(またはCS)デジタルチューナー(内蔵テレビ)が番組の受信を開始し、本機に映像・音声信号を送ってきます。
この信号に反応して、本機は録画を開始します。

- 番組が終わり、信号が送られてこなくなると、録画をやめ電源を切ります。
- BS(またはCS)デジタルチューナー(内蔵テレビ)からの信号が送り続けられている間は、番組が終わっても録画を続けます。
- 番組が終わったときにBS(またはCS)デジタルチューナー(内蔵テレビ)の電源が切れるように、予約した番組の受信を始める前は、チューナー(内蔵テレビ)を[スタンバイ]の状態にしておくことをおすすめします。
(詳しくは、チューナー(内蔵テレビ)の説明書をお読みください)
- 24時間以内に始まる番組を1番組だけ予約できます。
- 一度に2番組以上予約録画するときは、フリーセット予約**(➜30)**で外部入力録画の設定をしてください。
- 本機で録画・再生したBS(またはCS)デジタル放送のハイビジョン番組は、ハイビジョンの高画質にはなりません。

故障かな？

電源

電源プラグをコンセントに差し込んでいるのに、操作できない

● 予約録画の待機中になっている。(本体表示窓に“ ◴ ”が表示されている)
→**[タイマー 切/入]**を押し、“ ◴ ”表示を消す。**(➜33)**

● 各種安全装置が働いていることがあります。
→1. **[ビデオ電源]**を押し、電源を切る。
2. 電源プラグをコンセントから抜き、約5分後再び差し込む。
3. **[ビデオ電源]**を押し、電源を入れる。(直ることがあります)

自動的に電源が切れた

● 電力モード設定「自動電源 切」が「2H」または「6H」になっている。(不要な電力の消費をおさえます)
→**[ビデオ電源]**を押し、電源を入れる。
→自動電源 切機能を働かせないようにするには、電力モード設定「自動電源 切」を「切」にする。**(➜45)**

● 各種安全装置が働いていることがあります。
→**[ビデオ電源]**を押し、電源を入れる。

接続・設置

本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった

● テレビと本機に電波を分配したためです。
→ブースター(市販品)などを使うと改善されることがあります。(効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください)

テレビに本機の画面が出ない

映像・音声コードで接続したとき

● テレビの入力を切り換えていない。
→「ビデオ1」など、本機を接続した入力に切り換える。**(➜15)**

映像・音声コードで接続していないとき

● ビデオ専用チャンネルを選んでいない。
→**[メニュー]**を約5秒以上押し続け、**チャンネル[⌄][⌃]**でビデオ専用チャンネル“ CH 1 ”または“ CH 2 ”を選ぶ。**(➜16)**

● テレビ側で1または2チャンネルを調整してみる。(テレビの説明書もお読みください)

カセット

カセットが入らない

● 電源プラグがコンセントから外れている。**(➜12)**

● テープの見える面を上にして入れていない。**(➜20)**

カセットが取り出せない

● 予約録画の待機中、または実行中になっている。
(本体表示窓に“ ◴ ”が表示されている)
→どうしても取り出したいときは、**[タイマー 切/入]**を押し、“ ◴ ”を消す。**(➜33)**

● 録画中になっている。
→どうしても取り出したいときは、**[停止■]**を押し、録画をやめる。**(➜24)**

● 各種安全装置が働いていることがあります。
→1. **[ビデオ電源]**を押し、電源を切る。
2. 電源プラグをコンセントから抜き、約5分後再び差し込む。
3. **[ビデオ電源]**を押し、電源を入れる。
4. **[取出し⏏]**を押す。
上記の操作を2～3回繰り返してみてください。
それでも取り出せないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

リモコン

リモコンが操作できない

● 電池が消耗している。
→新しい電池と交換する。(リモコン表示部は点灯していても、操作できないときがあります)**(➜11)**

● 本体のリモコン受信部に向けて操作していない。**(➜11)**

● リモコンと本体の間に障害物などがある。**(➜11)**

本機が操作できない

● **[ビデオ/テレビ]スイッチ**が**[ビデオ]**になっていない。

● 予約録画の待機中になっている。(本体表示窓に“ ◴ ”が表示されている)
→**[タイマー 切/入]**を押し、“ ◴ ”表示を消す。**(➜33)**

● 本体とリモコンモードが合っていない。
→リモコンモードを合わせ直す。**(➜42)**

● 誤って**[設定(長押し)]**などが押されて設定が変更されている。
→各種設定を確認する。

テレビが操作できない

● **[ビデオ/テレビ]スイッチ**が**[テレビ]**になっていない。

● メーカー番号が合っていない。
→正しい番号に合わせる。(メーカーや機種により、操作できないことがあります)**(➜14)**

修理を依頼される前に、症状を確かめてください。
これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」**(➜63)**にお問い合わせください。

再生

再生できない

- 　；　カセットでも、S-VHS方式またはVHS方式で録画されたものは再生できますが、デジタル(D-VHS)方式で録画されていると再生できません。**(➜20)**
- 他のテレビ方式(PAL、SECAMなど)で録画されたカセットは再生できません。

静止画、スロー再生すると画面が乱れる

- 5倍モードで録画したカセットを静止画、スロー再生すると乱れますが、故障ではありません。**(➜21)**

早送り(巻き戻し)、静止画、スロー再生が自動的に解除された

- 早送り(巻き戻し)、スロー再生は、約10分で解除されます。静止画再生は、約5分で解除されます。(テープとビデオヘッドの保護のためです)

再生画面がチラチラする

- ビデオヘッドが汚れている。
  →乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)**(➜58)**でクリーニングする。**(➜39)**
- テープが古い、またはいたんでいる。**(➜7)**
- ビデオヘッドが磨耗している。
  →ビデオヘッドの交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

再生画面がブルーバックになる

- テープの未録画部分、または記録状態の悪い部分を再生している。
- 汚れたり、いたんだりしたテープを使うと、故障してブルーバック画面になることがあります。**(➜7)**
  →このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

再生画面が上下にゆれる

- テレビの垂直同期を調整してみる。(調整方法については、テレビの説明書をお読みください。またはお買い上げの販売店にご相談ください)

録画

録画できない

- カセットの誤消去防止用の「つめ」が折れている。
  →「つめ」の折れていないカセットを使う。**(➜20)**
- カセットの誤消去防止用つまみが「OFF」になっている。
  →「ON」側にスライドさせる。**(➜20)**

テレビ番組が録画できない

- 録画したい番組のチャンネルを選んでいない。
  →**チャンネル**[J][I]などで選ぶ。**(➜24)**

録画 (つづき)

S-VHS録画ができない

- モード設定の「S-VHS録画」が「切」になっている。
  →「入」にする。**(➜43)**

S-VHS ET録画ができない

- モード設定の「S-VHS ET録画」が「切」になっている。
  →「入」にする。**(➜26,43)**
- 5倍モードにしている。
  →5倍モードでS-VHS ET録画することはできません。**(➜26)**

　；　カセットを使っても、デジタル(D-VHS)方式で録画できない

- 本機では録画できません。**(➜24)**

予約録画

Gコード予約ができない

- ガイドチャンネルが正しく設定されていない。
  →ガイドチャンネルを正しく設定する。**(➜18)**
- 複数のチャンネルポジションに、同じガイドチャンネルが設定されている。
  →ガイドチャンネルを正しく設定する。また、不要なチャンネルは削除する。**(➜18〜19)**
- 時刻が合っていない。**(➜44)**

予約録画が正しくできない

- 予約内容(予約チャンネルや開始・終了時刻など)が間違っている。
  →予約内容を確認し、間違っているときは修正する。**(➜32)**
- 予約録画の待機状態になっていない。(本体表示窓に“ ◴ ”が表示されていない)
  →**[タイマー 切/入]**を押し、“ ◴ ”を表示させる。**(➜33)**
- 予約録画の時間帯が重なっている。
  →重ならないように予約する。
- 時刻が合っていない。**(➜44)**

予約録画中に電源が切れた

- テープの終端になると、途中でも録画を終了し、電源を切ります。
  →予約した番組よりも余裕のあるカセットを入れる。

[停止■]を押しても、予約録画が終わらない

- 予約録画実行中は**[停止■]**を押しても停止しません。
  [タイマー 切/入]を押し、本体表示窓の“ ◴ ”を消す。
  (録画が終わり、電源を入れたときの状態になります)**(➜33)**

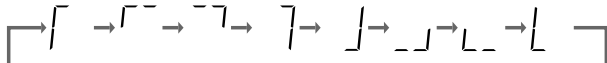
予約録画が終わっても、予約内容が消えない

- 毎日・毎週予約のときは消えません。

故障かな？(つづき)

表示

テープカウンター表示の値が動かない

● テープの未録画部分では、値は動かずに秒表示の部分が下記のようになります。

汚れたり、いたんだりしたテープを使って本機が故障したときも、上図のような表示になることがあります。
このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

本体表示窓の時刻表示が“ 0：00 ”で点滅している

● 時刻が合っていない。
→時刻を合わせ直す。**(➜44)**

電源を切ったら、本体表示窓の表示が消えた

● 電力モード設定「時刻表示」が「切」になっている。
(不要な電力の消費をおさえるための機能です)**(➜45)**

音声

聞きたい音声が聞こえない

● 正しい音声を選んでいない。
→**[音声切換]**を数回押し、聞きたい音声を選ぶ。**(➜41)**

音声がステレオではない

● 映像・音声コードで接続していない。(このときは常にモノラル音声になります)
● ステレオ音声を選んでいない。
→**[音声切換]**を数回押し、テレビ画面に“ 左 右 ”を表示させる。**(➜41)**

ステレオ音声がブツブツと聞こえる

● トラッキングがずれている。
→トラッキング調整をする。**(➜39)**
● 再生中のテープに傷などが付いている。

編集

黒い帯状のノイズが録画された

● 再生側ビデオがテレビに近いために、テレビからの妨害を受けている。
→再生側のビデオをテレビから離す。

外部機器から録画・録音できない

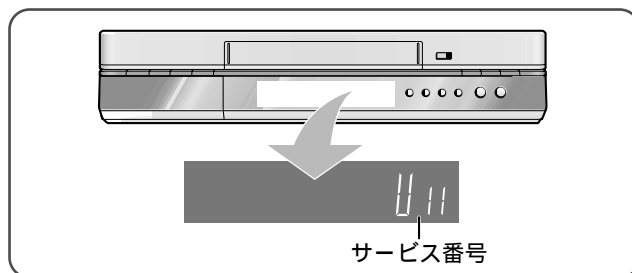
● 正しく接続していない。
● 再生機を接続した外部入力チャンネル“ L1 ”または“ L2 ”を選んでいない。**(➜47)**

編集 (つづき)

ビデオソフトをダビングしたが、映像が乱れたり、色合いが悪くなったりする

● コピー禁止処理されているビデオをダビングした。
→市販されているビデオソフト(レンタルビデオも含む)などは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されているものがあります。
コピー禁止処理された映像は正しく録画できません。

自己診断表示機能

本機は異常の状態をお知らせする自己診断表示機能を持っています。
● 本機の設置中や使用中に異常を検出すると、本体表示窓に下記のサービス番号を表示します。
● サービス番号は、例えば“ U11 ”のように、英文字と2けたの数字で表示されます。

U11

ビデオヘッドが汚れている
● ビデオヘッドをクリーニングする。**(➜39)**

U30

リモコンモードが合っていない
● リモコンモードを合わせる。**(➜42)**

H□□またはF□□

異常と思われます
(H、F以降の数字は、本機の状態によって変わります)
● 「故障かな?」の項目に従って点検してください。
それでもサービス番号が消えないときは、以下の操作をしてください。

→1. 電源プラグをコンセントから抜き、数秒後再び差し込む。
2. **[ビデオ電源]**を押し、電源を入れる。
(直ることがあります)

上記の操作をしてもサービス番号が消えない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの修理ご相談窓口へ修理を依頼してください。
なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、H01」などとお知らせください。

Q&A

本機の操作で疑問に思われることがあれば、以下の項目を参考にしてください。

電源

転居先で使えるか?

- 日本国内であれば使えます。
  →転居先で受信チャンネルを正しく設定し直してください。
  (➜17〜19)

海外でも使えるか?

- 本機は日本国内専用です。
  海外では電源電圧などが異なるため使えません。

接続

モノラルテレビと接続したいが?

- ステレオ↔モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。**(➜58)**

映像・音声コードのプラグや接続端子が色分けされているのは?

- プラグと端子の色を合わせて接続するようになっています。
  (**黄**=映像、**白**=左音声、**赤**=右音声、**黒**または**白**=モノラル音声)

カセット

; カセットを使って、録画・再生できるか?

- できます。ただし、 ; カセットを使っても、S-VHS方式でしか録画できません。**(➜24)**
- デジタル(D-VHS)方式で録画された ; カセットは再生できません。**(➜20)**

SVHSC またはVHSC カセットを使って、録画・再生できるか?

- カセットアダプター(別売)を使えばできます。
- 8ミリビデオカセット、デジタルビデオカセットは使えません。

再生

海外で録画したカセットを再生できるか?

- 同じNTSC方式のSP(標準)、またはEP(3倍)で録画されたものならできます。

本機の5倍モードで録画したカセットを他のビデオで再生できるか？

- できません。
  →5倍モードで録画されたカセットは、本機でお楽しみください。

本機でS-VHSまたはS-VHS ET録画したカセットを他のビデオで再生できるか？

- S-VHSビデオ、SQPB(S-VHS簡易再生)機能付きVHSビデオならできます。(機種によっては再生できないものがあります)

録画

録画中に、ステレオ放送の左または右音声のみ(2カ国語放送の主または副音声のみ)に切り換えて聞くことはできるか?

- できます。
  →**[音声切換]**で聞きたい音声を選んでください。**(➜41)**

ステレオ放送の左または右音声のみ(2カ国語放送の主または副音声のみ)を録音できるか?

- できません。
  →再生時に、**[音声切換]**で聞きたい音声を選んでください。

VHF/UHF放送の録画中に、テレビでBS放送を見ることはできるか?

- BSチューナー内蔵テレビであれば、見ることができます。

予約録画

予約録画は予約した順番に行われるのか?

- 予約内容の日付・時刻順に行われます。

予約録画の待機中に、他のカセットを見ることができるか?またはカセットを入れ替えることができるか?

- 予約録画の待機状態を解除しないとできません。
  →**[タイマー 切/入]**を押し、本体表示窓の“ ◷ ”を消してから操作してください。**(➜33)**

テレビの電源は入れていなくてもいいのか？

- 本機だけで予約録画する場合は、入れなくてもかまいません。
- テレビのチューナーを使ってBS番組などを予約録画する場合、予約録画中は電源を入れておく必要があります。
  (➜46)

市外局番入力チャンネル設定一覧表

市外局番入力チャンネル設定(➜17)を行うと、この表のように自動的に放送局が登録されます。
市外局番に変更があったときでも、この表の市外局番で設定してください。

都道府県	都市名	市外局番	PO(チャンネルポジション)／CH(受信チャンネル)・表示(表示チャンネル)・ガイドCH(ガイドチャンネル)																			
			PO 1				PO 2				PO 3				PO 4				PO 5			
			放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH
北海道	札幌	011	北海道放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80	テレビ北海道	17	17	17	札幌テレビ	5	5	5
	旭川	0166					NHK教育	2	2	90					テレビ北海道	33	33	17				
	北見	0157					NHK教育	2	2	90												
	帯広	0155	北海道テレビ	34	34	35									NHK総合	4	4	80				
	釧路/室蘭	0154/0143					NHK教育	2	2	90					テレビ北海道	29	29	17				
	函館	0138	テレビ北海道	21	21	17	北海道文化	27	27	27	北海道テレビ	35	35	35	NHK総合	4	4	80				
青森	青森	017	青森放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80					NHK教育	5	5	90
	八戸	0178													青森朝日	31	31	34				
秋田	秋田	018					NHK教育	2	2	90									秋田朝日	31	31	31
	大館	0186	青森放送	1	1	1									NHK総合	4	4	80	秋田朝日	59	59	31
岩手	盛岡	019	東北放送	1	1	1	めんこい	33	33	33	テレビ岩手	35	35	35	NHK総合	4	4	80	岩手朝日	31	31	20
宮城	仙台	022	東北放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80					NHK教育	5	5	90
山形	山形	023													NHK教育	4	4	90	山形さくらんぼ	30	30	30
	鶴岡	0235	山形放送	1	1	10					NHK総合	3	3	80					山形さくらんぼ	24	24	30
福島	福島	024	東北放送	1	1	1	NHK教育	2	2	90					テレビュー福島	31	31	31				
	会津若松	0242	NHK総合	1	1	80					NHK教育	3	3	90	テレビュー福島	47	47	31				
	いわき	0246					テレビュー福島	32	32	31					NHK総合	4	4	80				
茨城	水戸	029	NHK総合	44	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	46	3	90	日本テレビ	42	4	4	放送大学	16	16	16
栃木	宇都宮	028	NHK総合	29	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	27	3	90	日本テレビ	25	4	4	とちぎテレビ	31	31	23
群馬	前橋	027	NHK総合	52	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	50	3	90	日本テレビ	54	4	4	群馬テレビ	48	48	48
埼玉	さいたま	048	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
千葉	千葉	043	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
東京	東京	03	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
神奈川	横浜	045	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
山梨	甲府	055	NHK総合	1	1	80					NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	山梨放送	5	5	5
新潟	新潟	025									新潟テレビ21	21	21	21	テレビ新潟	29	29	29	新潟放送	5	5	5
長野	長野	026					NHK総合	2	2	80					長野朝日	20	20	20				
	飯田	0265	長野朝日	44	44	20					NHK教育	3	3	90	NHK総合	4	4	80				
富山	富山	0764	北日本放送	1	1	1	北陸放送	6	6	6	NHK総合	3	3	80	石川テレビ	37	37	37				
石川	金沢	076	北日本放送	1	1	1					富山テレビ	34	34	34	NHK総合	4	4	80				
福井	福井	0776									NHK教育	3	3	90								
静岡	静岡	054					NHK教育	2	2	90					静岡第一	31	31	31				
	浜松	053	東海テレビ	1	1	1	静岡第一	30	30	31					NHK総合	4	4	80	中部日本放送	5	5	5
岐阜	岐阜	058	東海テレビ	1	1	1					NHK総合	39	3	80					中部日本放送	5	5	5
愛知	名古屋	052	東海テレビ	1	1	1					NHK総合	3	3	80					中部日本放送	5	5	5
三重	津	059	東海テレビ	1	1	1	テレビ愛知	25	25	25	NHK総合	31	3	80	毎日テレビ	4	4	4	中部日本放送	5	5	5
滋賀	大津	077					NHK総合	28	28	80					毎日テレビ	36	4	4				
京都	京都	075					NHK総合	32	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日テレビ	4	4	4				
大阪	大阪	06					NHK総合	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日テレビ	4	4	4				
兵庫	神戸	078					NHK総合	28	2	80	サンテレビ	36	36	36	毎日テレビ	18	4	4	テレビ大阪	19	19	19
奈良	奈良	0742					NHK総合	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日テレビ	4	4	4	NHK奈良	51	51	ー
和歌山	和歌山	073					NHK総合	32	2	80					毎日テレビ	42	4	4	テレビ和歌山	30	30	30
鳥取	鳥取	0857	日本海テレビ	1	1	1					NHK総合	3	3	80	NHK教育	4	4	90				
島根	松江	0852	日本海テレビ	30	30	1																
	浜田	0855					NHK総合	2	2	80	日本海テレビ	54	54	1					山陰放送	5	5	10
岡山	岡山	086	岡山放送	35	35	35	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育	3	3	90					NHK総合	5	5	80
広島	広島	082	テレビ新広島	31	31	31					NHK総合	3	3	80	中国放送	4	4	4				
	福山	0849	テレビ新広島	54	54	31					NHK教育	3	3	90					NHK総合	5	5	80
山口	山口	083	NHK教育	1	1	90	九州朝日	2	2	1	テレビQ	23	23	19	山口朝日	28	28	28	大分放送	5	5	5
香川	高松	087	テレビせとうち	19	19	23					NHK教育	39	39	90	毎日テレビ	4	4	4	NHK総合	37	37	80
徳島	徳島	088	四国放送	1	1	1	テレビ大阪	19	19	19	NHK総合	3	3	80	毎日テレビ	4	4	4	テレビ和歌山	55	55	30
愛媛	松山	089	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育	2	2	90	広島テレビ	12	12	12	広島ホーム	35	35	35	テレビ新広島	31	31	31
	新居浜	0897	テレビせとうち	23	23	23	NHK総合	2	2	80	広島テレビ	12	12	12	NHK教育	4	4	90	テレビ新広島	31	31	31
高知	高知	0888													NHK総合	4	4	80				
福岡	福岡	092	九州朝日	1	1	1	サガテレビ	36	36	36	NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	テレビQ	19	19	19
	北九州	093					九州朝日	2	2	1	福岡放送	35	35	37	サガテレビ	36	36	36	テレビQ	23	23	19
佐賀	佐賀	0952	九州朝日	57	57	1	NHK教育	40	40	90	福岡放送	52	52	37	サガテレビ	36	36	36	テレビQ	14	14	19
長崎	長崎	095	NHK教育	1	1	90	九州朝日	57	57	1	NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	長崎放送	5	5	5
熊本	熊本	096	九州朝日	1	1	1	NHK教育	2	2	90	熊本朝日	16	16	16	熊本県民	22	22	22	長崎放送	5	5	5
大分	大分	097	九州朝日	1	1	1					NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	大分放送	5	5	5
宮崎	宮崎	0985	南日本放送	1	1	1					テレビ宮崎	35	35	35								
	延岡	0982					NHK教育	2	2	90					NHK総合	4	4	80				
鹿児島	鹿児島	099	南日本放送	1	1	1	テレビ熊本	34	34	34	NHK総合	3	3	80	テレビ宮崎	35	35	35	NHK教育	5	5	90
	阿久根	0996	鹿児島読売	17	17	30	テレビ熊本	34	34	34					鹿児島放送	23	23	32				
沖縄	那覇	098	琉球朝日	28	28	28	NHK総合	2	2	80												

(VHF/UHF)

- 一覧表の ①～⑫ の放送局は、リモコンの[1]～[12]を押すだけで選ぶことができます。
- マニュアルチャンネル設定を行う方は、各放送局のガイドチャンネルを「ガイドCH」の項目のとおり合わせてください。
  (例：NHK総合テレビ→80、NHK教育テレビ→90)

PO(チャンネルポジション)／CH(受信チャンネル)・表示(表示チャンネル)・ガイドCH(ガイドチャンネル)

PO 6				PO 7				PO 8				PO 9				PO 10				PO 11				PO 12				PO 13			
放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH
								北海道文化	27	27	**27**					北海道テレビ	35	35	**35**					NHK教育	12	12	**90**				
				札幌テレビ	7	7	**5**	北海道文化	37	37	**27**	NHK総合	9	9	**80**	北海道テレビ	39	39	**35**	北海道放送	11	11	**1**								
				札幌テレビ	7	7	**5**	北海道文化	59	59	**27**	NHK総合	9	9	**80**	北海道テレビ	61	61	**35**	北海道放送	53	53	**1**								
北海道放送	6	6	**1**					北海道文化	32	32	**27**					札幌テレビ	10	10	**5**					NHK教育	12	12	**90**				
				札幌テレビ	7	7	**5**	北海道文化	41	41	**27**	NHK総合	9	9	**80**	北海道テレビ	39	39	**35**	北海道放送	11	11	**1**								
北海道放送	6	6	**1**													NHK教育	10	10	**90**					札幌テレビ	12	12	**5**				
								北海道文化	27	27	**27**					青森朝日	34	34	**34**	北海道テレビ	35	35	**35**	青森テレビ	38	38	**38**				
				NHK教育	7	7	**90**					NHK総合	9	9	**80**					青森放送	11	11	**1**	青森テレビ	33	33	**38**				
												NHK総合	9	9	**80**					秋田放送	11	11	**11**	秋田テレビ	37	37	**37**				
秋田放送	6	6	**11**					NHK教育	8	8	**90**													秋田テレビ	57	57	**37**				
岩手放送	6	6	**6**	宮城テレビ	34	34	**34**	NHK教育	8	8	**90**					東日本放送	32	32	**32**					仙台放送	12	12	**12**				
				東日本放送	32	32	**32**					宮城テレビ	34	34	**34**									仙台放送	12	12	**12**				
テレビュー山形	36	36	**36**					NHK総合	8	8	**80**					山形放送	10	10	**10**					山形テレビ	38	38	**38**				
NHK教育	6	6	**90**					テレビュー山形	22	22	**36**													山形テレビ	39	39	**38**				
福島中央	33	33	**33**	東日本放送	32	32	**32**	宮城テレビ	34	34	**34**	NHK総合	9	9	**80**	福島放送	35	35	**35**	福島テレビ	11	11	**11**	仙台放送	12	12	**12**				
福島テレビ	6	6	**11**	東日本放送	32	32	**32**	福島中央	37	37	**33**	宮城テレビ	34	34	**34**	福島放送	41	41	**35**					仙台放送	12	12	**12**				
福島中央	34	34	**33**					福島テレビ	8	8	**11**					NHK教育	10	10	**90**					福島放送	36	36	**35**				
TBSテレビ	40	6	**6**					フジテレビ	38	8	**8**	千葉テレビ	39	46	**46**	テレビ朝日	36	10	**10**					テレビ東京	32	12	**12**				
TBSテレビ	23	6	**6**					フジテレビ	21	8	**8**					テレビ朝日	19	10	**10**					テレビ東京	17	12	**12**				
TBSテレビ	56	6	**6**	放送大学	40	16	**16**	フジテレビ	58	8	**8**	テレビ埼玉	38	38	**38**	テレビ朝日	60	10	**10**					テレビ東京	62	12	**12**				
TBSテレビ	6	6	**6**	テレビ埼玉	38	38	**38**	フジテレビ	8	8	**8**	千葉テレビ	46	46	**46**	テレビ朝日	10	10	**10**	群馬テレビ	48	48	**48**	テレビ東京	12	12	**12**				
TBSテレビ	6	6	**6**	TVKテレビ	42	42	**42**	フジテレビ	8	8	**8**	千葉テレビ	46	46	**46**	テレビ朝日	10	10	**10**	テレビ埼玉	38	38	**38**	テレビ東京	12	12	**12**				
TBSテレビ	6	6	**6**	TVKテレビ	42	42	**42**	フジテレビ	8	8	**8**	千葉テレビ	46	46	**46**	テレビ朝日	10	10	**10**	テレビ埼玉	38	38	**38**	テレビ東京	12	12	**12**				
TBSテレビ	6	6	**6**	TVKテレビ	42	42	**42**	フジテレビ	8	8	**8**					テレビ朝日	10	10	**10**					テレビ東京	12	12	**12**				
テレビ山梨	37	37	**37**	TBSテレビ	6	6	**6**	フジテレビ	8	8	**8**					テレビ朝日	10	10	**10**					テレビ東京	12	12	**12**				
								NHK総合	8	8	**80**					新潟総合	35	35	**35**					NHK教育	12	12	**90**				
テレビ信州	30	30	**30**									NHK教育	9	9	**90**	長野放送	38	38	**38**	信越放送	11	11	**11**								
信越放送	6	6	**11**					テレビ信州	42	42	**30**					長野放送	40	40	**38**												
チューリップ	32	32	**32**													NHK教育	10	10	**90**					富山テレビ	34	34	**34**				
北陸放送	6	6	**6**	北陸朝日	25	25	**25**	NHK教育	8	8	**90**					テレビ金沢	33	33	**33**					石川テレビ	37	37	**37**				
北陸放送	6	6	**6**									NHK総合	9	9	**80**					福井放送	11	11	**11**	福井テレビ	39	39	**39**				
静岡朝日	33	33	**33**									NHK総合	9	9	**80**					静岡放送	11	11	**11**	テレビ静岡	35	35	**35**				
静岡放送	6	6	**11**	テレビ愛知	25	25	**25**	NHK教育	8	8	**90**					静岡朝日	28	28	**33**					テレビ静岡	34	34	**35**				
テレビ愛知	25	25	**25**	岐阜放送	37	37	**37**	三重テレビ	33	33	**33**	NHK教育	9	9	**90**					名古屋テレビ	11	11	**11**	中京テレビ	35	35	**35**				
岐阜放送	37	37	**37**	中京テレビ	35	35	**35**	三重テレビ	33	33	**33**	NHK教育	9	9	**90**					名古屋テレビ	11	11	**11**	テレビ愛知	25	25	**25**				
ABCテレビ	6	6	**6**	三重テレビ	33	33	**33**	関西テレビ	8	8	**8**	NHK教育	9	9	**90**	読売テレビ	10	10	**10**	名古屋テレビ	11	11	**11**	中京テレビ	35	35	**35**				
ABCテレビ	38	6	**6**	京都テレビ	34	34	**34**	関西テレビ	40	8	**8**	びわ湖放送	30	30	**30**	読売テレビ	42	10	**10**					NHK教育	46	46	**90**				
ABCテレビ	6	6	**6**	京都テレビ	34	34	**34**	関西テレビ	8	8	**8**	サンテレビ	36	36	**36**	読売テレビ	10	10	**10**					NHK教育	12	12	**90**				
ABCテレビ	6	6	**6**	京都テレビ	34	34	**34**	関西テレビ	8	8	**8**	サンテレビ	36	36	**36**	読売テレビ	10	10	**10**					NHK教育	12	12	**90**				
ABCテレビ	20	6	**6**					関西テレビ	22	8	**8**					読売テレビ	24	10	**10**					NHK教育	26	12	**90**				
ABCテレビ	6	6	**6**	京都テレビ	34	34	**34**	関西テレビ	8	8	**8**	サンテレビ	36	36	**36**	読売テレビ	10	10	**10**	奈良テレビ	55	55	**55**	NHK教育	12	12	**90**				
ABCテレビ	44	6	**6**					関西テレビ	46	8	**8**					読売テレビ	48	10	**10**					NHK教育	26	12	**90**				
																山陰放送	22	22	**10**					山陰中央	24	24	**34**				
NHK総合	6	6	**80**					山陰中央	34	34	**34**					山陰放送	10	10	**10**					NHK教育	12	12	**90**				
								山陰中央	58	58	**34**	NHK教育	9	9	**90**																
				瀬戸内海放送	25	25	**33**					西日本放送	9	9	**9**					山陽放送	11	11	**11**								
				NHK教育	7	7	**90**					広島ホーム	35	35	**35**									広島テレビ	12	12	**12**				
				中国放送	7	7	**4**					広島ホーム	57	57	**35**					広島テレビ	11	11	**12**								
				テレビ山口	38	38	**38**	RKB毎日	8	8	**4**	NHK総合	9	9	**80**	テレビ西日本	10	10	**9**	山口放送	11	11	**11**	福岡放送	35	35	**37**				
ABCテレビ	6	6	**6**	瀬戸内海放送	33	33	**33**	関西テレビ	8	8	**8**	西日本放送	9	9	**9**	読売テレビ	10	10	**10**	山陽放送	29	29	**11**	岡山放送	31	31	**35**				
ABCテレビ	6	6	**6**	サンテレビ	36	36	**36**	関西テレビ	8	8	**8**					読売テレビ	10	10	**10**					NHK教育	38	12	**90**				
NHK総合	6	6	**80**	瀬戸内海放送	33	33	**33**	あいテレビ	29	29	**29**	西日本放送	9	9	**9**	南海放送	10	10	**10**	山陽放送	11	11	**11**	愛媛放送	37	37	**37**	愛媛朝日	25	25	**25**
南海放送	6	6	**10**	瀬戸内海放送	33	33	**33**	あいテレビ	27	27	**29**	西日本放送	9	9	**9**	広島ホーム	35	35	**35**	山陽放送	11	11	**11**	愛媛放送	36	36	**37**	愛媛朝日	14	14	**25**
NHK教育	6	6	**90**					高知放送	8	8	**8**					テレビ高知	38	38	**38**	高知さんさん	40	40	**40**								
NHK教育	6	6	**90**									テレビ西日本	9	9	**9**					熊本放送	11	11	**11**	福岡放送	37	37	**37**				
NHK総合	6	6	**80**					RKB毎日	8	8	**4**					テレビ西日本	10	10	**9**	熊本放送	11	11	**11**	NHK教育	12	12	**90**				
テレビ熊本	34	34	**34**	長崎放送	5	5	**5**	RKB毎日	48	48	**4**	NHK総合	38	38	**80**	テレビ西日本	60	60	**9**	熊本放送	11	11	**11**	テレビ長崎	37	37	**37**				
テレビ熊本	34	34	**34**	長崎国際	25	25	**25**	テレビ西日本	9	9	**9**	長崎文化	27	27	**27**	熊本放送	11	11	**11**	テレビ長崎	37	37	**37**	熊本県民	22	22	**22**				
テレビ熊本	34	34	**34**	テレビ長崎	37	37	**37**	サガテレビ	36	36	**36**	NHK総合	9	9	**80**	テレビQ	19	19	**19**	熊本放送	11	11	**11**	RKB毎日	4	4	**4**				
南海放送	10	10	**10**	テレビ大分	36	36	**36**	福岡放送	37	37	**37**	大分朝日	24	24	**24**	テレビQ	19	19	**19**	テレビ西日本	9	9	**9**	NHK教育	12	12	**90**				
				鹿児島放送	32	32	**32**	NHK総合	8	8	**80**	鹿児島テレビ	38	38	**38**	宮崎放送	10	10	**10**					NHK教育	12	12	**90**				
宮崎放送	6	6	**10**					テレビ宮崎	39	39	**35**																				
宮崎放送	10	10	**10**	鹿児島放送	32	32	**32**	熊本県民	22	22	**22**	鹿児島テレビ	38	38	**38**	熊本朝日	16	16	**16**	鹿児島読売	30	30	**30**								
鹿児島テレビ	35	35	**38**	熊本県民	22	22	**22**	NHK総合	8	8	**80**	熊本朝日	16	16	**16**	南日本放送	10	10	**1**	熊本放送	11	11	**11**	NHK教育	12	12	**90**				
								沖縄テレビ	8	8	**8**					琉球放送	10	10	**10**					NHK教育	12	12	**90**				

別売品のご紹介

本書で紹介させていただいている別売品の一例です。
- ★印の付いているものは、サービスルート扱いなどでご用意しております。
- 品番、メーカー希望小売価格は、2003年3月現在のものです。
  また、消費税や工事代などは含まれておりません。

映像・音声コード(ステレオ⟷ステレオ)

品　番	メーカー希望小売価格
● RP-CVP3G05(0.5 m)	1,150円
● RP-CVP3G10(1.0 m)	1,300円
● RP-CVP3G15(1.5 m)	1,400円
● RP-CVP3G20(2.0 m)	1,500円
● RP-CVP3G30(3.0 m)	1,700円

映像・音声コード(ステレオ⟷モノラル)

品　番	メーカー希望小売価格
● RP-CVP2G10(1.0 m)	1,200円
● RP-CVP2G20(2.0 m)	1,400円
● RP-CVP2G30(3.0 m)	1,600円

S映像コード

品　番	メーカー希望小売価格
● RP-CVS0G10(1.0 m)	900円
● RP-CVS0G20(2.0 m)	1,200円
● RP-CVS0G30(3.0 m)	1,300円

75Ω同軸ケーブル ★

品　番	メーカー希望小売価格
● VUA7051(1.4 m)	400円

V・U分波器 ★

品　番	メーカー希望小売価格
● VUA7052F(F型接栓付き)	800円

75Ωアンテナプラグ(VHF/UHF入力端子専用) ★

品　番	メーカー希望小売価格
● VSQ1035	300円

アンテナプラグ ★

品　番	メーカー希望小売価格
● VUA7050	300円

ビデオヘッドクリーナー ★

品　番	メーカー希望小売価格
● VFK0923FM(乾式、使用回数180回)	3,000円
● VFK0923FS(乾式、使用回数30回)	1,800円

カセットアダプター

品　番	メーカー希望小売価格
● VW-TCA7	3,000円

仕様

電　源　AC 100 V ±10 %、50/60 Hz ±0.5 %
消費電力　動作時 ：約12 W
待機時 ：約1.2 W＊
(時刻表示点灯時・約1.4 W
時刻表示消灯時・約0.3 W)

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

＊：省エネ法に定める計算式による待機時消費電力値を示す。

録画方式

S-VHS規格

テープ速度

標準：33.35 mm/秒、3倍：11.12 mm/秒

使用カセット

S-VHS/VHSビデオカセット

録画時間

最大9時間(T-180使用、3倍の場合)

早送り・巻き戻し時間

約54秒(T-120使用の場合)、
高速リターン時：約36秒(T-120使用の場合)

音声方式

- **入力**
  309 mV、入力インピーダンス47 kΩ(ピンジャック)
- **出力**
  309 mV、出力インピーダンス1 kΩ(ピンジャック)、
  負荷インピーダンス10 kΩ
- **トラック数**
  3トラック(ハイファイ：2トラック、ノーマル：1トラック)

ハイファイ音声特性
ダイナミックレンジ：90 dB以上
ワウフラッター　：0.005 %以下
周波数特性　：20 Hz～20 kHz

映像方式

- **テレビジョン方式**
  NTSC方式、525本、60フィールド
- **入力**
  1.0 Vp-p、75 Ω(ピンジャック)
- **S映像入力**
  Y入力：1.0 Vp-p、75 Ω、C入力：0.286 Vp-p、75 Ω
- **出力**
  1.0 Vp-p、75 Ω(ピンジャック)
- **S映像出力**
  Y出力：1.0 Vp-p、75 Ω、C出力：0.286 Vp-p、75 Ω
- **受信チャンネル**
  VHF　：1～12チャンネル
  UHF　：13～62チャンネル
  CATV：C13～C63チャンネル
- **VHF/UHFアンテナ入力**
  75 Ω
- **RFコンバーター出力**
  VHF1または2チャンネル

許容動作温度

5 ～ 40 ℃

許容動作湿度

35 ～ 80 %

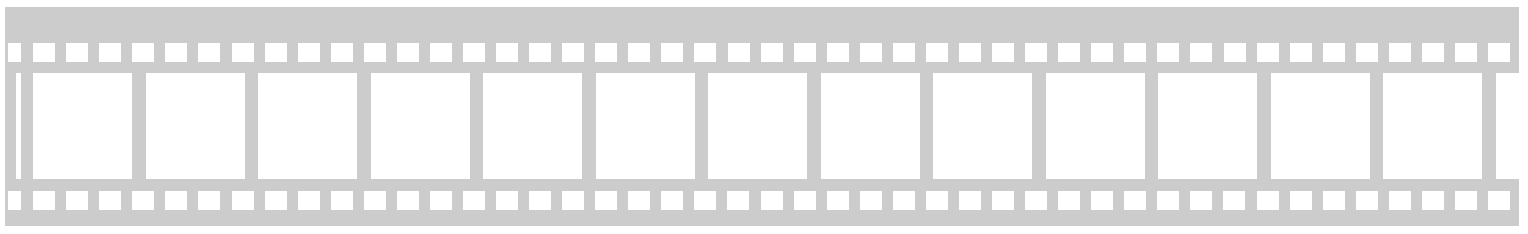
時計部

クォーツ制御、24時間、デジタル表示

本体外形寸法

約幅 430×高さ89×奥行277 mm

本体質量

約3.5 kg

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。
注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

「故障かな?」(➜**52〜54**)に従ってご確認のあと、直らないときは、本体表示窓に「サービス番号」(➜**54**)が表示されているときはその番号を控えておき、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	ビデオカセットレコーダー
品　番	NV-SV120
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時〜20時

電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187
FAX　フリーダイヤル　0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ナショナル／パナソニック

修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	住所	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	住所	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6011
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	住所	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	住所	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

地域	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0902

さくいん

Panasonic ビデオカセットレコーダー NV-SV120 取扱説明書

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検 長年ご使用のビデオカセットレコーダーの点検を！

こんな症状はありませんか

- 再生しても映像や音声が出ない
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 水や異物が入った
- 時刻表示などに異常がある
- テープをいためた
- その他の異常や故障がある

▶ このような症状のときは故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　月　日	品　番	NV-SV120
	販売店名	☎(　　)　－	お客様ご相談窓口 ☎(　　)　－	

松下電器産業株式会社

AVCネットワーク事業グループ
〒571－8505　大阪府門真市松生町1番4号

システム事業グループ
〒571－8503　大阪府門真市松葉町2番15号

VQT0D29
F0203Tj0